

令和6年度

地域スポーツクラブ活動体制整備事業

地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

和歌山県かつらぎ町

自治体名：和歌山県かつらぎ町

担当課名：かつらぎ町教育委員会教育総務課

電話番号：0736-22-0303

1.自治体の基本情報

基本情報

面積	151.69 km ²
人口	15, 262 人
公立中学校数	2 校
公立中学校生徒数	325人
部活動数	14部活
市区町村の協議会・検討会議等の設置状況	設置済み
市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況	策定済み

地域連携・地域移行における市区町村の現状・課題

今年度、初めて本町の児童生徒数が1,000名を切り、中学校でも生徒数は、笠田中学校175名、妙寺中学校150名と減少を続けている。そのようななかで、運動部は、笠田中学校 7部、妙寺中学校 7部が活動しているが、ほとんどの部活で慢性的な部員不足が続いており、今年度は、笠田中学校野球部と妙寺中学校野球部、妙寺中学校女子バスケットボール部が他の市町の中学校と合同チームによる活動となった。また、現在休部中の笠田中学校女子バスケットボール部は、来年度 6名以上の入部がなければ廃部となる。今後も部員不足で合同チームや廃部となる部活が増えることが予想される。

地域連携、地域移行については、今年度は13名の地域人材により6部活（クラブ）で指導を行った。当該部活（クラブ）在籍の生徒からは「地域の指導者から専門的な指導を受けることができた」「希望する運動部活動を行えた」「他校の生徒との交流が広がった」など好評である。特に、今年度「妙寺クラブ（陸上）」が、正式に妙寺中学校陸上部から離れ、地域クラブとして中体連に登録した。当該クラブからは和歌山県市町村対抗ジュニア駅伝競走大会の代表に小・中学生合わせて6名が選ばれるなど、町内の陸上競技の普及・発展に寄与している。また、広域に渡る地域クラブとして、本町生徒に加え近隣の橋本市と九度山町の生徒が加入している「ブルッフラ（バレーボール）」を昨年度正式に本町の地域クラブとして認定した。今年度は、部員数、指導者数ともに安定的に確保されるとともに、保護者の協力を得ながら、地区大会で優勝し県大会でも勝利するなど好成績を残している。

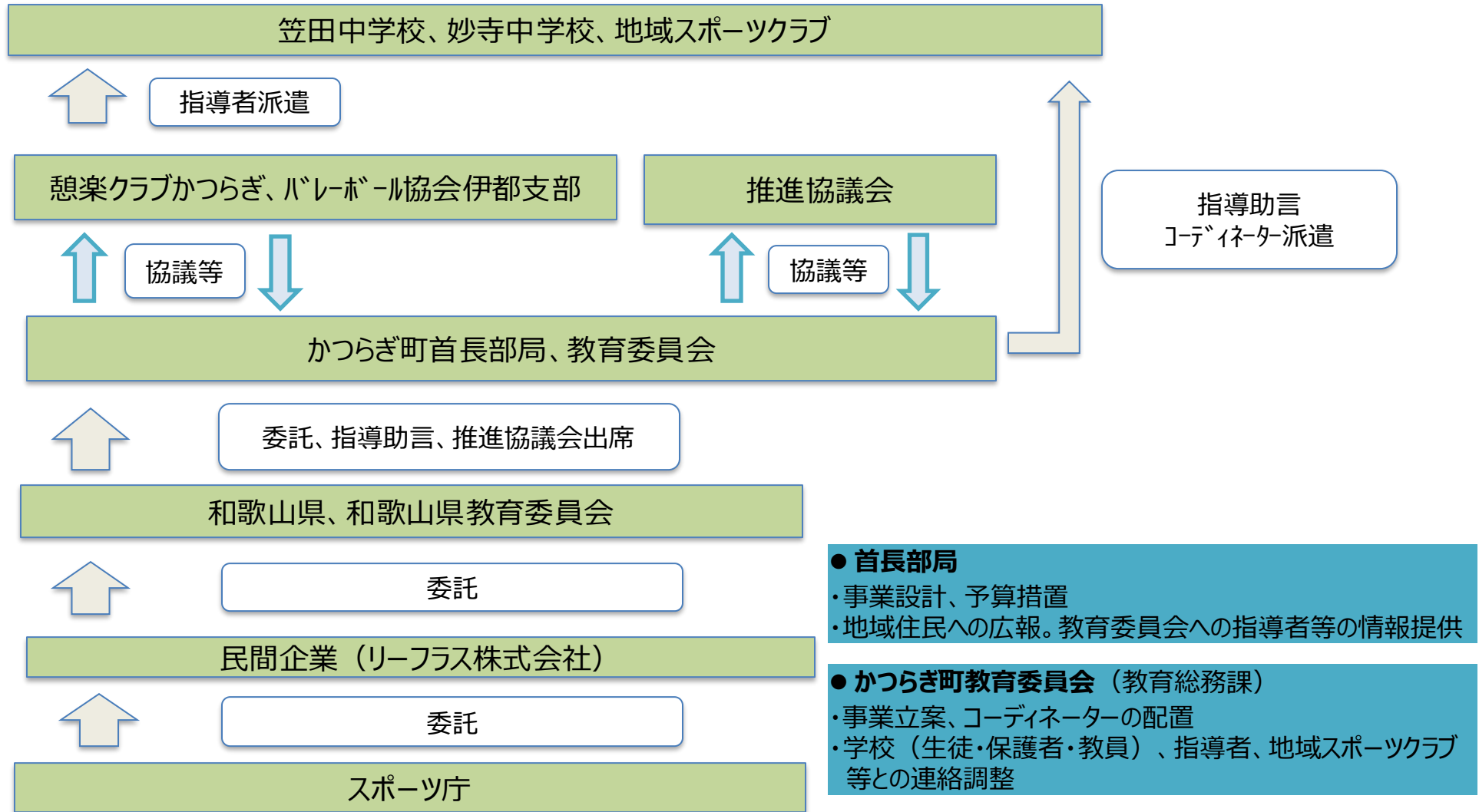
今年度初めて行った全中学校教員対象のアンケートでは、部活指導に負担を感じている割合が70%を超えており、また、学校部活動が地域のスポーツ団体等に移行した場合、その活動に従事することを積極的に希望する割合は非常に低かった。また、小学生保護者、中学生保護者対象に行ったアンケートでは、地域移行の意義を理解する保護者は、2年前に行った同じアンケートに比べ増えており、地域移行に賛成する意見も増加した。反面、地域移行を進めるには保護者の送迎や費用などの受益者負担への反対や不安を感じる意見など、様々な課題の提起があった。

今後、地域運動部活動を推進していくには、以下の課題に対応する必要がある。

- ・地域人材（指導者）の確保、マッチングする仕組みの構築
- ・地域人材（指導者）の研修の充実
- ・平日と休日の一貫指導のための連携・協力体制の構築
- ・費用負担のあり方の整理や費用負担の必要性の周知・啓発
- ・生徒の部活動環境充実に向けた学校と地域の協働体制の構築
- ・活動場所の確保と連絡調整
- ・移動方法の確保と連絡調整

2.実証内容と成果

運営体制・役割



2.実証内容と成果

年間の事業スケジュール

令和6年4月	関係者ミーティング（年度当初の顔合わせ、方針の確認等） 関係生徒・保護者への説明 年度当初の事務手続き 活動開始（妙寺クラブ、ブルッフラ、妙寺中学校バレーボール部）
令和6年5月	コーディネーターによる各部活（クラブ）視察（生徒の体調等確認、指導者及び教員、保護者と意見・情報交換） 活動開始（笠田中学校陸上部・卓球部、妙寺中学校卓球部）
令和6年6月	コーディネーターによる各部活（クラブ）視察（生徒の体調等確認、指導者及び教員、保護者と意見・情報交換） 関係者ミーティング（進捗状況の情報共有、課題の洗い出しと対応協議）
令和6年7月	コーディネーターによる各部活（クラブ）視察（生徒の体調等確認、指導者及び教員、保護者と意見・情報交換） 総合型地域スポーツクラブ及び競技団体と協議 教育長、教育委員会関係者による各各部活（クラブ）視察（指導者及び教員、保護者と意見交換）
令和6年8月	コーディネーターによる各部活（クラブ）視察（生徒の体調等確認、指導者及び教員、保護者と意見・情報交換）
令和6年9月	関係団体（スポーツ協会、スポーツ推進委員会、スポーツ少年団）との意見交換 コーディネーターによる各部活（クラブ）視察（生徒の体調等確認、指導者及び教員、保護者と意見・情報交換）
令和6年10月	第1回かつらぎ町立中学校における部活動の地域移行に関する推進協議会 コーディネーターによる各部活（クラブ）視察（生徒の体調等確認、指導者及び教員、保護者と意見・情報交換）
令和6年11月	コーディネーターによる各部活（クラブ）視察（生徒の体調等確認、指導者及び教員、保護者と意見・情報交換）
令和6年12月	各地域クラブの次年度中体連登録手続き アンケート（中学生、中学生保護者、小学生保護者、中学校教員、地域指導者等） コーディネーターによる各部活（クラブ）視察（生徒の体調等確認、指導者及び教員、保護者と意見・情報交換）
令和7年1月	大学との交流に向けての意見交換、スポーツ少年団関係者と意見交換 関係者ミーティング（進捗状況の情報共有、課題の洗い出しと対応協議） コーディネーターによる各部活（クラブ）視察（生徒の体調等確認、指導者及び教員、保護者と意見・情報交換）
令和7年2月	教育長、教育委員会関係者による各部活（クラブ）視察（指導者及び保護者、教員と意見交換） 第2回かつらぎ町立中学校における部活動の地域移行に関する推進協議会 コーディネーターによる各部活（クラブ）視察（生徒の体調等確認、指導者及び教員、保護者と意見・情報交換） 総合教育会議
令和7年3月	コーディネーターによる各部活（クラブ）視察（生徒の体調等確認、指導者及び教員、保護者と意見・情報交換） 関係者ミーティング（1年間の総括及び次年度に向けての協議）

2.実証内容と成果

地域スポーツクラブ活動の運営実績

①全体に関すること

中学校数	2校	実施した地域クラブ総数	6クラブ
ケース別クラブ数	A：部活動を地域移行した形のクラブ数（及び移行された部活動数）		5クラブ（5部活）
	B：部活動を移行する形態ではない地域クラブ（新たな種目のクラブを新規に創設するケース等）		1クラブ
全体の指導者数	13名	全体の運営スタッフ数	3名

②各クラブに関すること

クラブ名	運営団体種別	種目	実施回数	実施時間帯	参加者 (学年別)	実施期間	活動場所	指導者数	運営スタッフ数 (他クラブと兼務)	会費	大会参加方法
妙寺クラブ	総合型地域スポーツクラブ	陸上(新)	週3回	16:00 ～ 18:00 8:30 ～ 11:30	中3:1名 中2:3名 小学生:14名 成人:3名	通年	かつらぎ公園 笠田中学校	1名	2名 (内、兼務 2名)	0円	中体連： 地域クラブ その他：地域クラブ
ブルッフ	競技団体	バレーボール	週 4～5回	19:00 ～ 21:00 9:00 ～ 12:00	中3:2名 中2:8名 中1:5名 小学生:14名	通年	妙寺中学校	3名	2名 (内、兼務 2名)	月会費 1,000円	中体連： 地域クラブ その他：地域クラブ
笠田中学校卓球部	総合型地域スポーツクラブ	卓球	週1回	16:00 ～ 18:00	中3:2名 中2:8名 中1:4名	通年	笠田中学校	2名	2名 (内、兼務 2名)	0円	中体連： 部活動 その他：部活動

2.実証内容と成果

地域スポーツクラブ活動の運営実績

②各クラブに関すること

クラブ名	運営団体種別	種目	実施回数	実施時間帯	参加者 (学年別)	実施期間	活動場所	指導者数	運営スタッフ数 (他クラブと兼務)	会費	大会参加方法
笠田中学校 陸上部	総合型 地域 スポーツ クラブ	陸上	週1回	8:30 ～ 11:30	中3:4名 中2:7名	通年	笠田 中学校	1名	2名 (内、兼務 2名)	0円	中体連：部 活動 その他：部 活動
妙寺中学校 バレーボール 部	総合型 地域 スポーツ クラブ	バレーボール	週1回	8:30 ～ 11:30	中3:4名 中2:7名 中1:2名	通年	妙寺 中学校	3名	2名 (内、兼務 2名)	0円	中体連：部 活動 その他：部 活動
妙寺中学校 卓球部	総合型 地域 スポーツ クラブ	卓球(新)	週2回	16:00 ～ 18:00	中3:5名 中2:1名	通年	妙寺 中学校	3名	2名 (内、兼務 2名)	0円	中体連：部 活動 その他：部 活動

③その他、体験会やイベント等の開催実績

妙寺クラブ（陸上）とブルッフラ（バレーボール）においては、希望があれば、その都度保護者同伴で体験会を実施した。

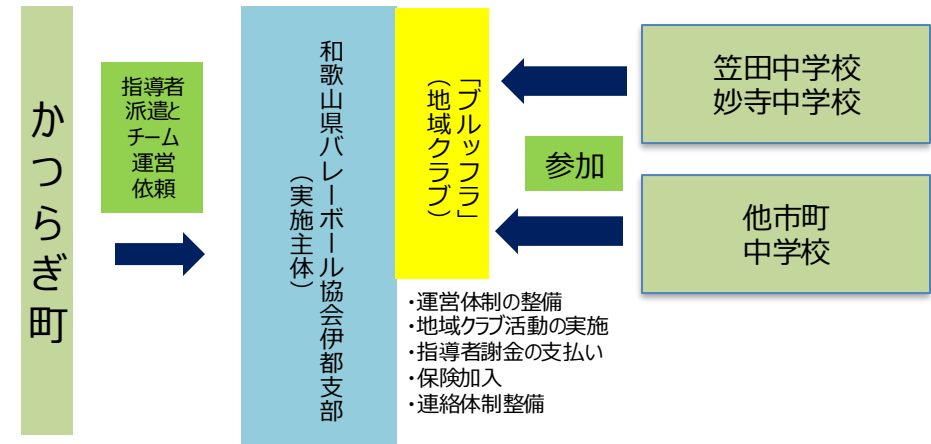
2.実証内容と成果

主な取組例

●ブルッフラ 活動概要

地域クラブ活動で実施した種目	バレーボール
運営団体名	和歌山県バレーボール協会伊都支部
期間と日数	4月1日～3月31日 週4～5回程度
指導者の主な属性	妙寺中学校教頭 奈良県五條市教育委員会指導主事 大学生
活動場所	妙寺中学校
主な移動手段	保護者送迎 自転車 徒歩 指導者による送迎
1人あたりの参加会費等	月1,000円
1人あたりの保険料	スポーツ安全保険 生徒1人あたり：800円/年 指導者1人あたり：1,850円/年

●運営体制図（地域クラブ活動を実施する際の運営体制図）



●指導者や運営スタッフなどの役割分担等

- 統括責任者（和歌山県バレーボール協会伊都支部長）
役割：活動における管理者として、町教委及び保護者との連携
- 主任指導者 1名
役割：活動における主任者として、生徒への指導及び保護者・町教委との連携
- 運営補助者 3名（保護者1名含む）
役割：活動において、主任指導者の補助として指導

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

取組事項

- コーディネーターを1名配置する。
- 関係団体との連絡調整を行うとともに、学校の管理職の協力のもとで教員への啓発や連絡調整、指導助言等を行う。
- 運営団体・実施主体の運営体制の整備や人材の確保など、持続可能な運営ができる組織体制の整備を行う。

取組の成果

- コーディネーターを配置したことにより、関係団体との連絡調整や会議運営等を円滑に行うことができた。
- 学校の管理職から各部活顧問教員や生徒の詳細な状況を把握することができた。

コーディネーターの具体的な動きの実績

- 年度当初に教育長、実施主体、地域人材、教育委員会関係者、学校関係者によるミーティングの開催。
- 地域部活動参加の生徒及び指導者のスポーツ安全保険への加入手続き。
- 妙寺クラブ、笠田中学校陸上部・卓球部、妙寺中学校バレーボール部・卓球部は、ほぼ毎回練習を視察し、地域指導者や兼業兼職の教員と情報交換や意見交換を行うとともに、不祥事防止などの啓発活動を行った。また、生徒に対しても体調確認やメンタル面の変化がないか等の観察を行ない、必要に応じ関係者と対応を行った。ブルッフラについても、2週間に1回のペースで同様の対応を行った。
- 実施主体である憩楽クラブ（総合型地域スポーツクラブ）及び和歌山県バレーボール協会伊都支部と指導日の日程調整や指導方針等について、意見交換や情報交換を行った。
- 妙寺クラブ、笠田中学校陸上部の毎月の練習日程作成。
- 消耗品につき、各クラブ（部活）への希望調査及び購入手続き。
- 妙寺クラブの指導者による生徒・保護者向けの「便り（MAC便り）」作成の補助。
- 中体連大会参加につき、県中体連事務局や伊都地方中体連会長、理事長と情報交換。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

コーディネーターの具体的な動きの実績

- スポーツ庁地域スポーツ課と情報交換。
- 中体連大会、小体連大会、スポーツ少年団主催の各種大会の視察と関係者との意見交換。
- 中体連大会参加申し込み及び次年度の中体連登録手続き
- サッカーチーム及び野球チーム設立に向け、スポーツ少年団指導者や保護者と意見交換。
- 天候急変時の練習場所確保につき、関係機関との調整。
- 地域移行（展開）に関する研修会への出席、先進事例の関係者への情報提供。
- 県内外の教育委員会、中学校からの訪問対応。
- 大学生からの地域移行関係調査への対応。
- 県教委担当課との情報交換。
- 地域クラブを休みがちになった生徒についての対応、学校を休みがちになった地域クラブの生徒の保護者からの相談対応。
- かつらぎ町立中学校における部活動の地域移行に関する推進協議会の開催。
- 総合教育会議出席（本町の地域移行関係のアンケート調査結果、今後の取組予定、課題等について説明）
- 実証事業全般の事務。

今後の課題と対応方針

- 実施主体の運営体制の整備や人材の確保など、持続可能な運営ができるようさらなる組織体制の整備。
- アンケート結果からも、地域移行に関し保護者に対する周知は進んでいるものの、中学生には進んでおらず、周知についてさらなる工夫が必要である。
- 来年度、推進協議会の下部組織として、実施主体のメンバーとコーディネーターに学校の教員を加えた実働的な組織を作りたい。
- 「地域移行した部活は学校とは関係ない」という雰囲気为学校の様子から窺える部分があるが、今後も学校との連携、管理職の強いリーダーシップが必要である。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 イ：指導者の質の保障・量の確保①

取組事項

指導者の確保については、教育委員会事務局が中心となり、町スポーツ協会やスポーツ推進委員会、スポーツ少年団代表者会等に働きかけて情報収集を行うとともに、情報に基づきその都度該当者への面談等を行っている。また、高等学校との連携を模索中であり、今年度、町内の県立高校陸上部の指導者から試験的な指導を受けた。さらに、実施主体である憩楽クラブかつらぎに所属する小学生や社会人対象の指導者の「兼務」についても検討を行っている。

質の確保については、可能な限り日本スポーツ協会公認スポーツ指導者資格の有資格者の確保に努めており、今年度新たにバレーボールの指導者2名が合格し来年度から有資格者となる。

資格有無

- ブルッフラ【指導者M】：日本スポーツ協会公認スポーツ指導者 コーチ1
【指導者T、J】：日本スポーツ協会公認スポーツ指導者 コーチ1（来年度から）
- 妙寺中学校バレーボール部：【指導者T】：日本スポーツ協会公認スポーツ指導者 コーチ2
- 指導者資格のない地域指導者
笠田中学校卓球部（1名）、妙寺クラブ（1名）
- 指導者資格のない兼業兼職で自校の部活を指導する教員
笠田中学校卓球部（1名）
妙寺中学校バレーボール部（2名）・卓球部（2名）

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 イ：指導者の質の保障・量の確保②

指導者研修の内容

今年度は日時を指定しての参集での研修会は実施していない。

活動の様子は、ほぼ毎回コーディネーターが視察しており、その都度指導者と情報交換や意見交換を行っている。また、生徒ともコミュニケーションを取っており、体調確認やメンタル面の変化についても訪問の都度注意深く観察を行っている。

このため、参集での研修に代えて様々な機会を捉えてコーディネーターが、不祥事やセクハラ・パワハラ等の防止について指導を行っている。また、教育委員会関係者、特に、教育長が頻繁に活動の様子を視察しており、その都度指導者とコミュニケーションを取り、様々な指導を行っている。

受講者（指導者）の声

- 救命救急や熱中症予防などについて、最新の専門的な知識や技術の修得を望む声。
- 生徒のメンタル面の指導に関し、特に、女子の指導が難しいという声。

今後の課題と対応方針

- 将来的に指導者が増えた場合は、不祥事やセクハラ・パワハラ等の防止については、現有のコーディネーターや教育委員会関係者だけでは対応できなくなるため、参集での実施が必要である考える。
- 指導者の大半が元教員であり、一定の知識や技術を有しているが、救命救急や熱中症予防、生徒の体調管理や栄養指導など、各競技以外の専門的な知識や技術が必要な内容について、将来的に参集での研修会を実施したいと考える。
- 生徒のメンタル面の指導については、競技や種目に関係なく共通するものがあると思われる。そのため、それぞれの指導者が気軽に悩みや指導方法を共有し合えるような研修会も必要である。
- 不足する指導者確保のため、県立高校の教員は必要不可欠と考えるが、本県の兼業兼職の許可は進みにくい状況である。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 エ：面的・広域的な取組

取組事項

令和3年、中学校教員が近隣市町のバレーボール部がない中学校の生徒や、かつらぎ町内の中学生に呼びかけ、和歌山県バレーボール協会伊都支部の下部組織として中学生女子チーム「ブルッフラ」を設立。令和5年度、中体連に登録し大会に参加。令和5年10月、本町の実証事業対象の地域クラブとして認定した。部員は現在、小学生を含め29名、指導者は、かつらぎ町立妙寺中学校教頭、奈良県五條市教育委員会指導主事、大学生の3名。平日を含め週4～5日程度活動を行っている。

各自治体の役割

- 上記指導者（五條市教育委員会指導主事）派遣につき、五條市教育委員会の深い理解と協力を得ている。
- 本町の地域クラブとして認定するにあたり、市町を超えての取組になるため、事前に教育長が当該市町の教育長に理解と協力を依頼し、快諾を得た。

移動手段

- 保護者の送迎、自転車、徒歩、指導者の送迎。

取組の成果

- バレーボール部のない中学校からの生徒の参加が可能となった。
- 男子を含む小学生が加入し、底辺の拡充に繋がっている。

今後の課題と対応方針

- バレーボール部のある近隣市町の学校から、「学校部活との競合」や「大会ごとに生徒が地域クラブか学校部活のどちらから出場するか選択する規定」などへの課題提起の声が聞こえてきた。このため、大会参加については、退部等特別な場合を除き、地域クラブと学校部活のどちらから出場するかは、年度当初に生徒に選ばせ、通年で同じチーム（部活）から出場することとした。
- 送迎（特に夜）の問題
- 会費は徴収しているが、実証事業から支出しており、今後実証事業終了後の、特に、指導者謝金の問題。

取組内容

●取組項目名 オ：内容の充実①小学生の参加、保護者の参加・補助

取組事項

1 妙寺クラブ

- ①小学生が加入し、中学生とともに活動している。
- ②保護者等成人が加入し小・中学生と活動するとともに、指導者の補助を行っている。

2 ブルッフラ（バレーボール）

- ①小学生が14名加入し、中学生とともに活動している。
- ②保護者が、大会・練習試合時の送迎や指導者の補助を行っている。

活動の詳細

1 妙寺クラブ

○具体的な内容

現在、小学生14名（小2：1名、小3：2名、小4：4名、小5：6名、小6：1名）、成人女性3名（保護者：2名、他：1名）が一緒に活動している。小学生加入のきっかけは、「散歩中にたまたま通りかかって見ていると興味がわいた」「校内マラソン大会でよい成績をあげたい」「顔見知りの中学生に誘われた」「妹が先に加入していた」など様々である。保護者の加入のきっかけは、「送迎の子供を待っている時間が、もったいない」「美容と健康のため」などである。

練習メニューは毎回、「中学生」「小学生（初心者）」「小学生（中級者）」「成人」向けなどに分け、共通するメニューは極力一緒に行い中学生や成人が小学生に教えたり補助を行っている。成人は、グラウンド外の道路を走る時や指導者が練習に遅れたり早退する時の安全管理も担っている。

取組内容

●取組項目名 オ：内容の充実①小学生の参加、保護者の参加・補助

○子供の声

- ・長距離を走る時、中学生が前を走ってくれてペースメーカーをしてくれるので、記録が伸びた。
- ・お兄さんたちに親切に教えてもらえて楽しい。
- ・近所の知っている同級生や友達と兄弟と一緒に楽しい。

○指導者の声

- ・人数が増え活気がある練習ができる。
- ・成人の参加時は、補助や子供への声掛けをしてくれるのが、たいへん助かっている。
- ・部員が増えるのはたいへんありがたいが、様々なレベルの方がいるので、さらに練習メニューの工夫が必要である。今後は会費の徴収や指導者の増員が必要になるかもしれない。

○運営経費：会費等は徴収していない

2 ブルッラ

○具体的な内容

現在小学生14名が中学生と一緒に活動している。練習は、共通するメニューは、極力一緒に行い中学生が小学生に教えたり補助を行っている。保護者は、指導者が練習に遅れたり早退する場合の体育館の開錠や施錠、練習中の安全管理の補助や、大会や練習試合参加時の送迎を手伝っている。

○運営経費：会費1,000円（1か月）

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 オ：内容の充実①小学生の参加、保護者の参加・補助

上段：妙寺クラブ、下段：ブルッフラ



2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

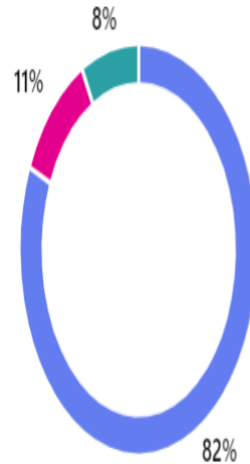
●取組項目名 オ：内容の充実②

取組の成果

参加した中学生を対象としたアンケートの結果、回答者の90%以上が地域人材の指導を受けて満足を感じている。
また、良かったと思うことは、高い専門性や技術力の向上に次いで、他校の生徒と交流ができたこと等をあげている。

地域の方（あなたが通う学校の先生以外の方）の指導を受けて、どのように感じていますか。

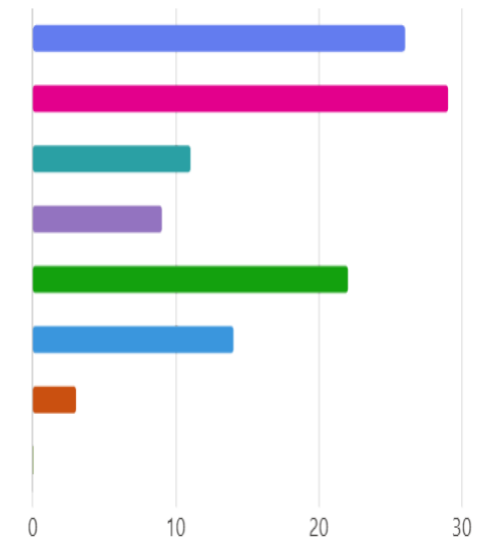
● 満足	31
● 少し満足	4
● どちらでもない	3
● 少し不満	0
● 不満	0



● 専門性の高い指導を受けられた	26
● 技術力が向上した	29
● 地域の指導者と学校の先生の複数から指導を受けられた	11
● 現在通っている学校にはない種目を体験できた	9
● 他校の生徒との交流ができた	22
● 地域クラブから試合・大会に参加できた	14
● 分からない	3
● その他	0

地域指導者の指導を受ける生徒対象アンケート 2024.12実施

地域の方の指導を受けて（地域部活動に参加して）良かったと思うことがあれば、答えて下さい。また、「その他」を選んだ場合は、具体的に答えて下さい。（複数回答可）



2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



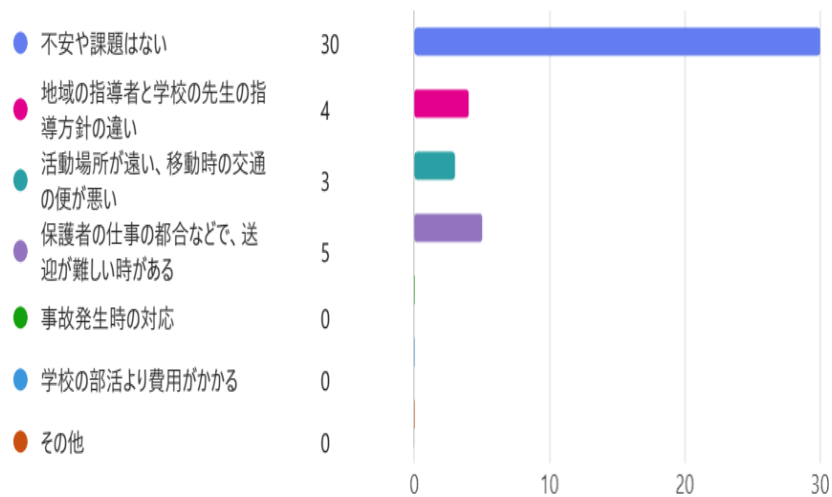
取組内容

●取組項目名 オ：内容の充実②

取組の成果

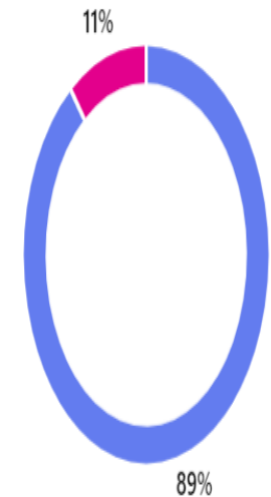
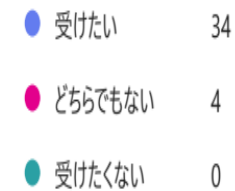
参加した中学生を対象としたアンケートの結果、「不安や課題はない」が大半である。
また、今後も「指導を受けたい」が、約90%であった。

地域の方の指導を受けていて、不安に思うことや課題と感ずることがあれば、答えて下さい。また、「その他」を選んだ場合は、具体的に答えて下さい。（複数回答可）



地域指導者の指導を受ける生徒対象アンケート 2024.12実施

今後も地域の方の指導を受けたいと思いますか。



2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 オ：内容の充実②

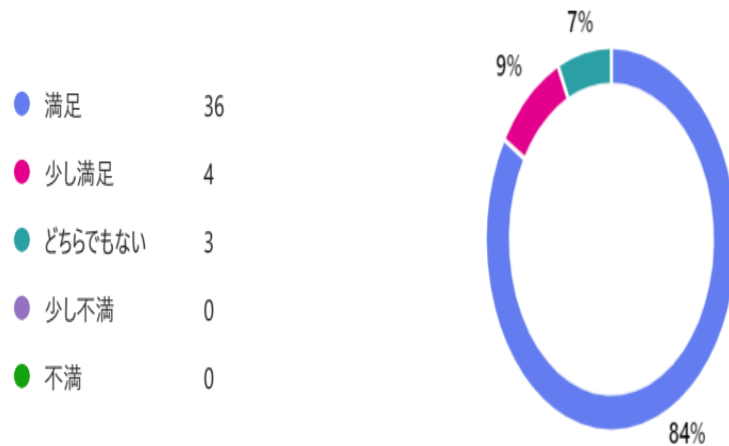
取組の成果

参加した中学生の保護者を対象としたアンケートの結果、満足度は中学生とほぼ同じ割合で高い。
また、指導を受けて良かったと思う割合も中学生とほぼ一致している。

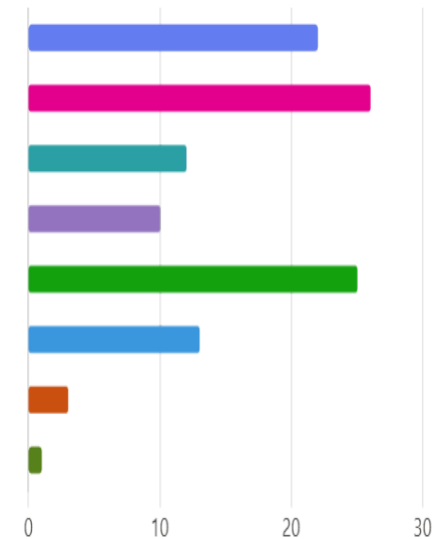
お子様が地域の方（お子様が通う学校の教員以外の方）の指導を受けていることについて、どのように感じていますか。

地域指導者の指導を受ける保護者対象アンケート 2024.12実施

お子様が地域の方の指導を受けて良かったと思うことがあれば、お答え下さい。また、「その他」を選んだ場合は、具体的にお答え下さい。（複数回答可）



- 専門性の高い指導を受けられた 22
- 技術力が向上した 26
- 地域の指導者と学校の教員の複数から指導を受けられた 12
- 現在通っている学校にはない種目を体験できた 10
- 他校の生徒との交流ができた 25
- 地域クラブから試合・大会に参加できた 13
- 分からない 3
- その他 1



2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 オ：内容の充実②

取組の成果

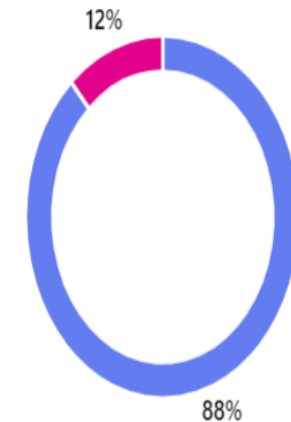
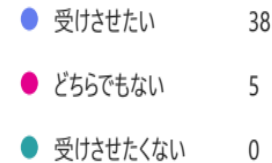
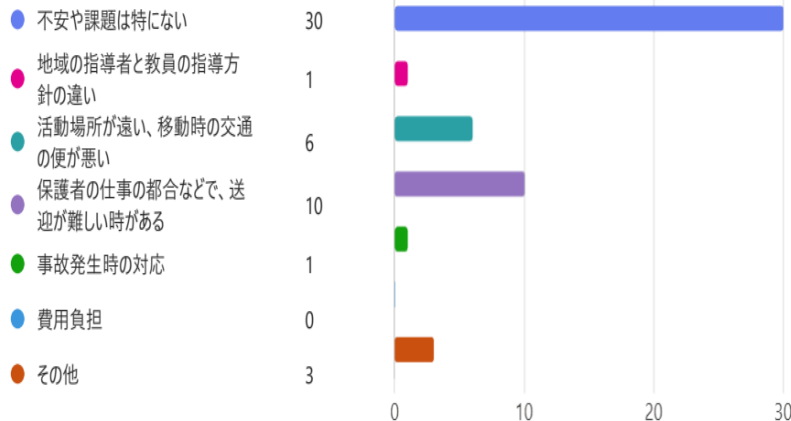
参加した中学生の保護者を対象としたアンケートの結果、「不安や課題は特にない」が大半であったが、練習時間が夜の活動については、送迎の負担が大きく、今後保護者による送迎以外の手段の確保に向けた検討も必要である。

今後の指導については、約90%が継続を希望している。

地域指導者の指導を受ける保護者対象アンケート 2024.12実施

お子様地域の方の指導を受けていて、不安に思うことや課題と感ずることがあれば、お答え下さい。また、「その他」を選んだ場合は、具体的にお答え下さい。（複数回答可）

今後も地域の方の指導を受けさせたいと思いますか。



2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 ク：その他の取組 平日の移行

取組事項

- 改革推進期間後を見据えた取組を推進する観点から、休日だけでなく平日も含めた地域クラブ活動への移行に向けた取組等を実施し、課題を見つけ解決策の検討等を行った。
- 妙寺クラブ（陸上）、及び、ブルッフラ（バレーボール）においては、休日に加え平日の2日～4日間に活動を行った。
- 妙寺中学校卓球部においては、休日に加えて、主に水曜日に活動を行った。

取組の成果

(1) 妙寺クラブ（陸上）

- ・今年度妙寺中学陸上部から地域クラブに移行
- ・指導者：N氏（元中学校教員、自営、67歳）
- ・練習日：火曜日、木曜日、土曜日（大会前は日・月曜除く毎日）
- ・部員：中学生4名、小学生14名、大人3名
- ・練習場所：かつらぎ公園、笠田中学校

(2) ブルッフラ（バレーボール）（昨年度実証事業対象クラブに指定）

- ・指導者：M氏（妙寺中学教頭、兼業兼職）
T氏（奈良県五條市教育委員会指導主事、兼業兼職）
J氏（大学生）
- ・練習日：平日夜間及び休日
- ・部員：中学生15名、小学生14名
- ・練習場所：妙寺中学校

今後の課題と対応方針

(3)と同じく休日については、笠田中学校陸上部・卓球部、妙寺中学校バレーボール部において、教員と一緒に指導しているが、アンケート結果からも、この形態を望む声が残っており、今後もそれぞれの部活や顧問教員、指導者、生徒の状況により対応していく。

(3) 妙寺中学校卓球部（今年度から）

- ・指導者：Y氏（会社員、44歳）
- ・練習日：水曜日
- ・顧問教員：N教諭（数学、土日は兼業兼職）
T教諭（国語、土日は兼業兼職）

一貫指導に関する部活動顧問との連携事例

妙寺中学校卓球部においては、平日3日間は顧問教員が指導を行った。その間の練習内容や生徒の様子については、ライン等で連絡を取り合うことで連携を図った。

また、地域指導者が指導するときは、顧問教員も一緒に指導したが、地域指導者がリーダーシップを取る形が年度当初から定着したため、トラブルはなかった。

2.実証内容と成果③

アンケート結果

小学生（4年生～6年生）保護者対象

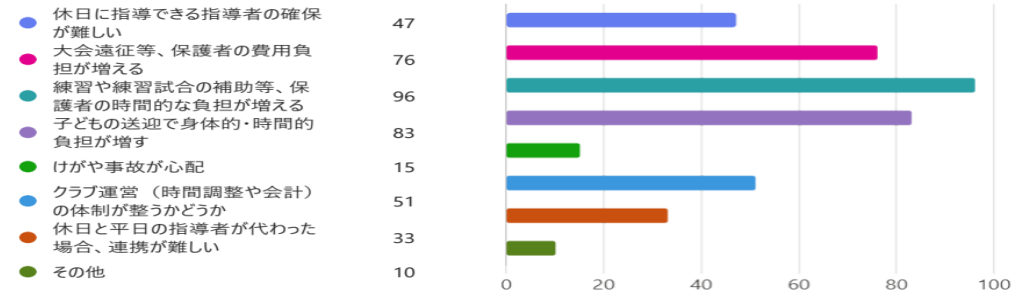
2024.12実施

※回答率：236/358 = 66%

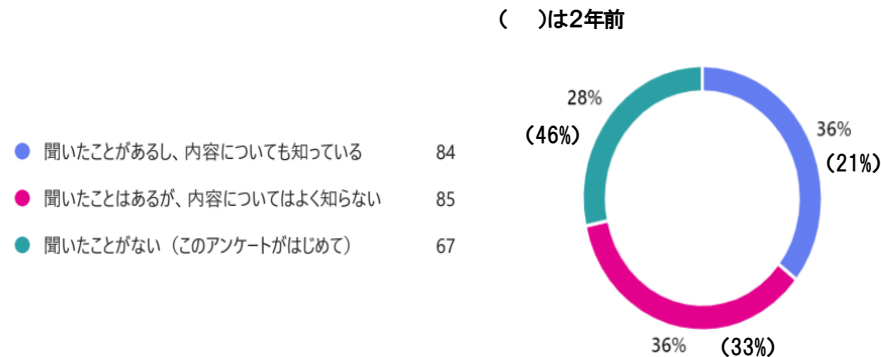
お子さまは、スポーツ少年団や文化的な活動団体等の地域活動に所属されていますか。



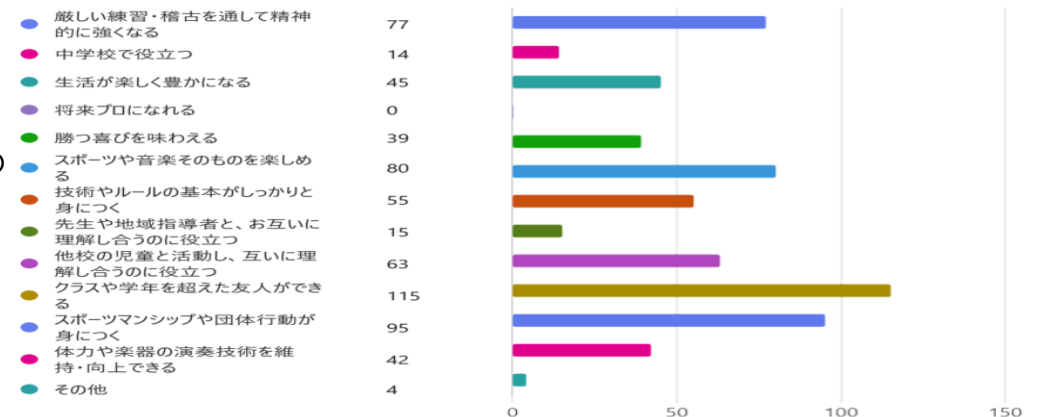
『部活動の地域移行』について、『不安（課題）』に思うことはありますか。あれば、あてはまるもの（2つ以内）を選んで、お答え下さい。『その他』を選んだ場合は、その理由もお答え下さい。



『部活動の地域移行』とその内容について聞いたことがありますか。



地域活動の『意義』についてどう思いますか。あてはまるもの（3つ以内）を選んで、お答え下さい。『その他』を選んだ場合は、その理由もお答え下さい。



アンケート結果

小学生（4年生～6年生）保護者対象 2024.12実施

※回答率：236/358=66%

部活動の地域移行について、ご意見があれば、お書きください。

（1）賛成意見（8件）

- ・教員の働き方改革につながる
- ・専門的な指導を受けられる
- ・地域住民との交流ができる

（2）様々な課題提起の意見（15件）

- ・予算、活動場所、送迎の問題の解決
- ・中学校の部活加入を強制ととらえている意見
- ・子供がやりたい活動があるかの課題（サッカークラブの設立）
- ・地域移行そのものが分からない

（3）反対、その他（4件）

- ・部活自体が不要
- ・地域移行自体がよくわからない

2.実証内容と成果③

アンケート結果

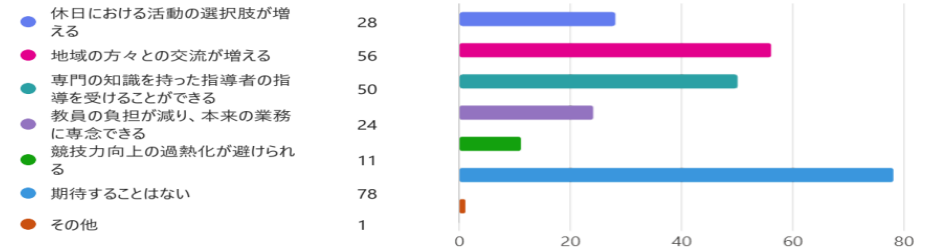
中学生（1年生、2年生）対象 2024.12実施

※回答率：178/213=84%

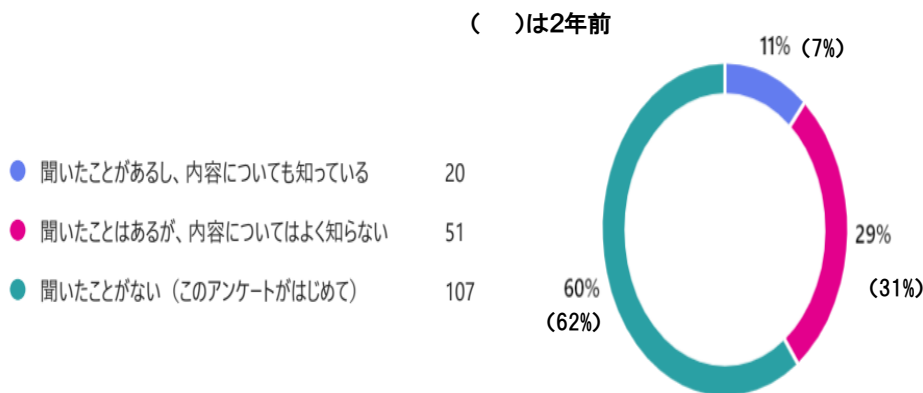
学校の部活動に所属していますか。



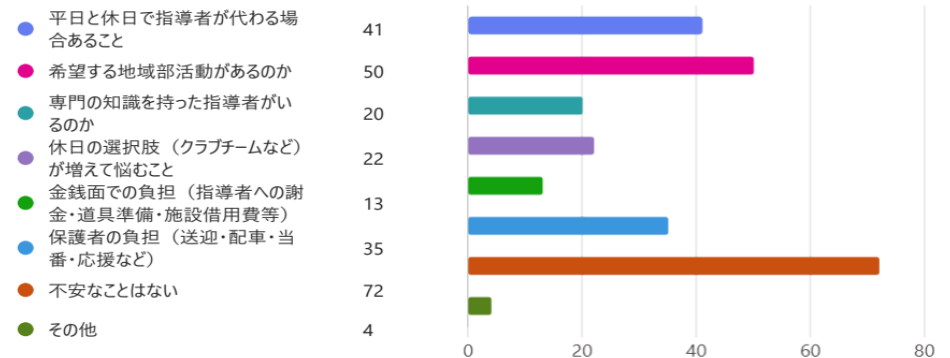
【全ての生徒】がお答え下さい。『部活動の地域移行』に対する『期待』について、あてはまるもの（2つ以内）を答えて下さい。『その他』を選んだ場合は、その理由も答えて下さい。



【全ての生徒】が答えてください。『部活動の地域移行』とその内容について、聞いたことがありますか。



【全ての生徒】がお答え下さい。『部活動の地域移行』に対する『不安（課題）』に思うことについて、あてはまるもの（2つ以内）を答えて下さい。『その他』を選んだ場合は、その理由も答えて下さい。



2.実証内容と成果③

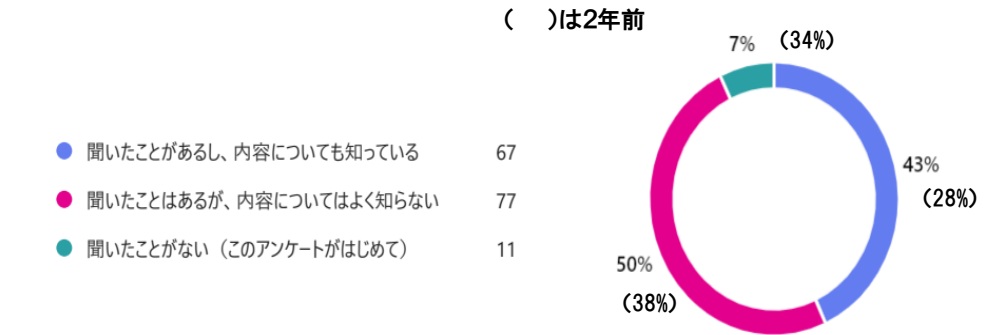
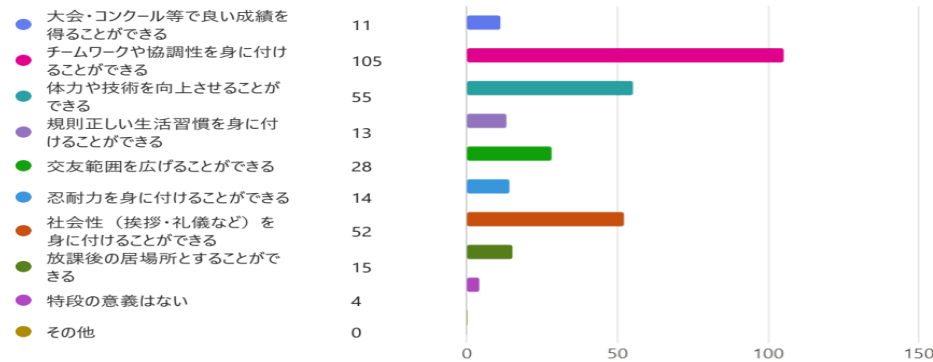
アンケート結果

中学生（1年生、2年生）保護者対象 2024.12実施

※回答率：155/213=73%

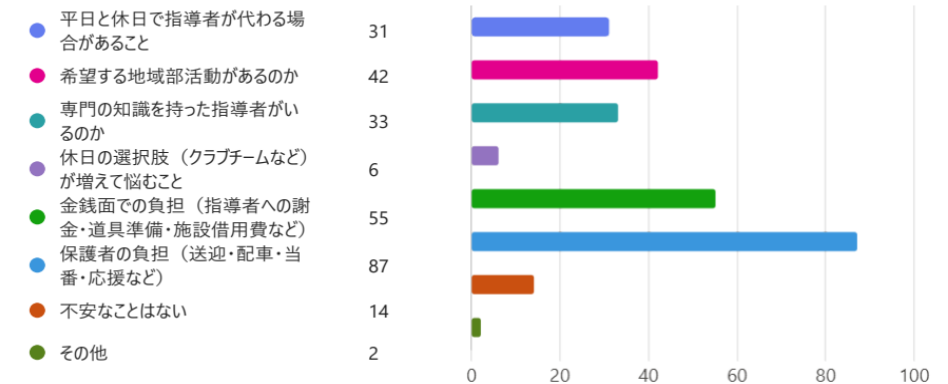
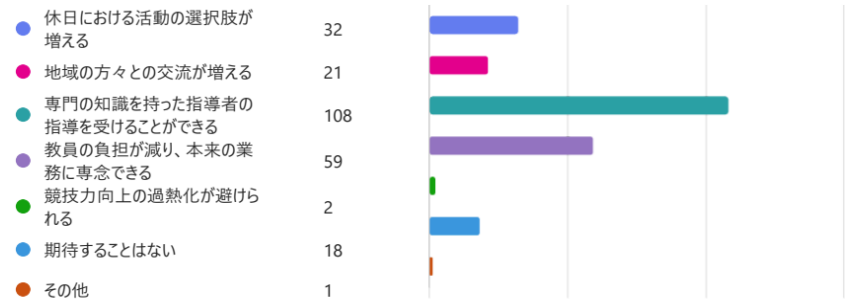
学校の部活動で意義があると思うもの（2つ以内）を選んで、お答え下さい。『その他』を選んだ場合は、その理由もお答え下さい。

『部活動の地域移行』とその内容について聞いたことがありますか。



『部活動の地域移行』に対する『期待』について、あてはまるもの（2つ以内）を選んで、お答え下さい。『その他』を選んだ場合は、その理由もお答え下さい。

『部活動の地域移行』について、『不安（課題）』に思うことはありますか。あれば、あてはまるもの（2つ以内）を選んで、お答え下さい。『その他』を選んだ場合は、その理由もお答え下さい。



アンケート結果

中学生（1年生、2年生）保護者対象 2024.12実施

※回答率：155/213=73%

部活動の地域移行について、ご意見があれば、お書きください。

（1）賛成意見（7件）

- ・教員の働き方改革
- ・活動時間が増える
- ・技術力アップ
- ・時代の流れ

（2）様々な課題提起の意見（9件）

- ・教員も一緒に指導してほしい（指導者の人柄）
- ・送迎
- ・サッカークラブの設立
- ・学校との連携の必要性
- ・学校外での活動結果の校内での表彰等

（3）反対、その他（3件）

- ・保護者負担
- ・指導者が変ること

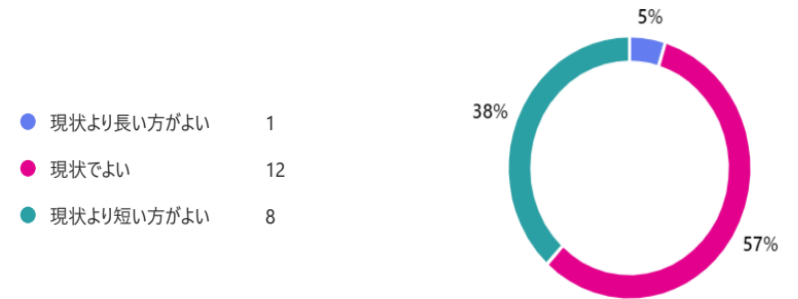
アンケート結果

中学校教員対象 2024.12実施

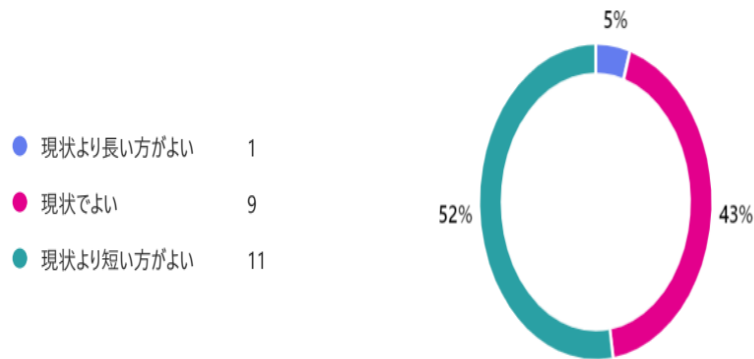
現在担当している部活動は、ご自身が専門として指導できるものですか。



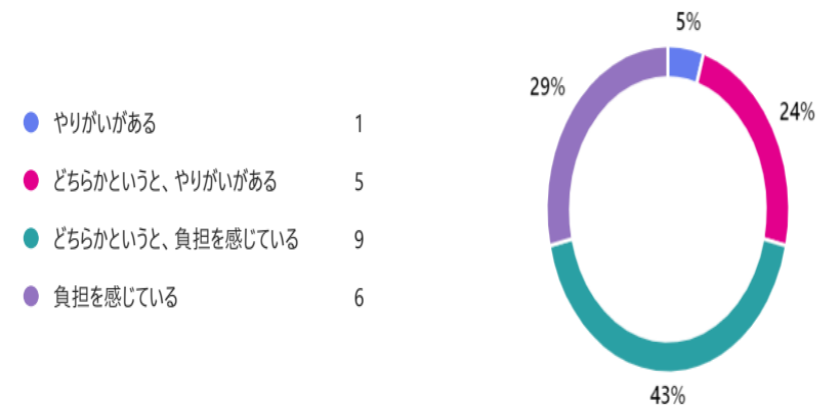
現在の平日の指導時間について、どのようにお考えですか。



現在の休日の指導時間について、どのようにお考えですか。



現在あなたが取り組んでいる部活動指導について、どのように感じていますか。

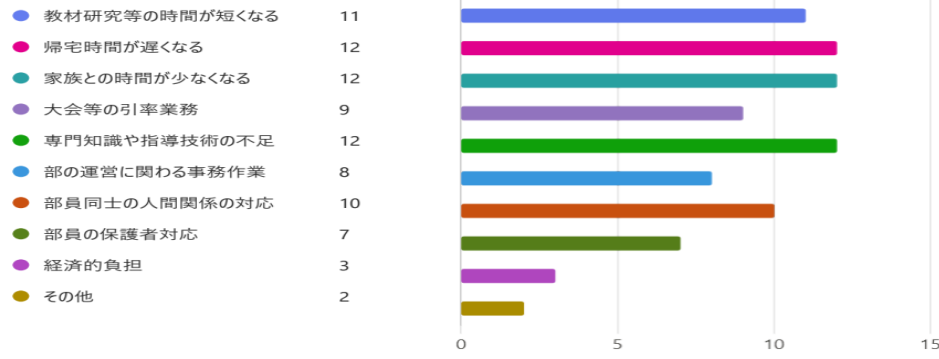


2.実証内容と成果③

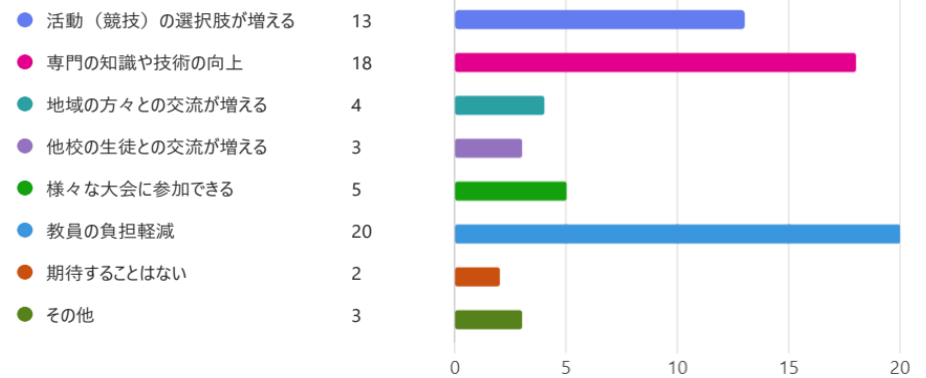
アンケート結果

中学校教員対象 2024.12実施

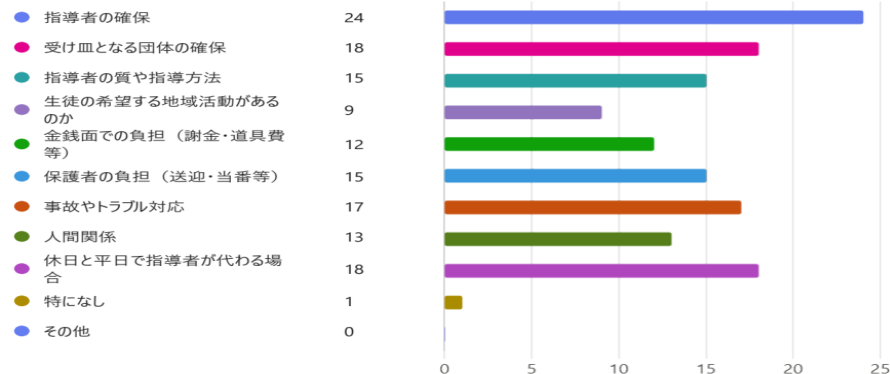
どのようなことに負担を感じていますか。『その他』を選んだ場合は、具体的にお答え下さい。（複数回答可）



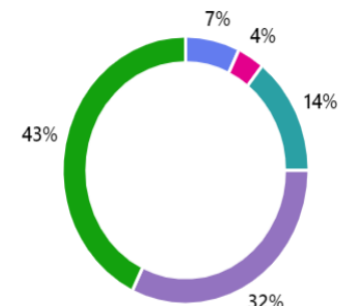
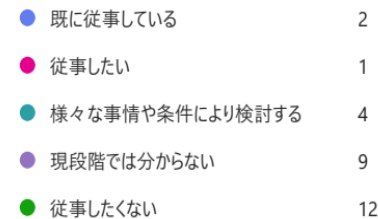
部活動の地域移行について、期待することをお答えください。『その他』を選んだ場合は、具体的にお答え下さい。（複数回答可）



部活動の地域移行について、課題と思うことをお答え下さい。『その他』を選んだ場合は、具体的にお答え下さい。（複数回答可）



今まで行われてきた学校部活動等が、学校外の地域のスポーツ団体や文化団体等に移行した場合、あなたは兼業兼職の許可を得たうえで、その活動に従事したいと思いますか。



アンケート結果

地域指導者と一緒に指導する教員対象 2024.12実施

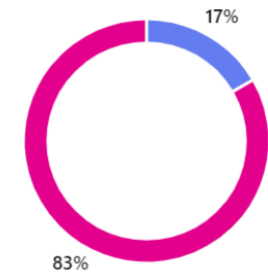
あなたと一緒に指導する地域指導者との関係は、どのように感じていますか。

- かなり良好 0
- 良好 6
- 少し良好でない 0
- 良好でない 0



生徒が地域の方の指導を受ける様子は、どのように感じますか。

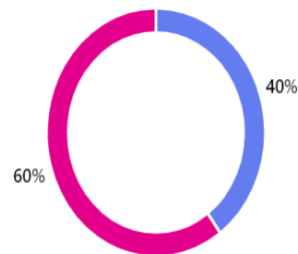
- 楽しく充実している様子である 1
- まあまあ楽しく充実している様子である 5
- あまり楽しく充実している様子ではない 0
- 全く楽しく充実している様子ではない 0



地域指導者対象 2024.12実施

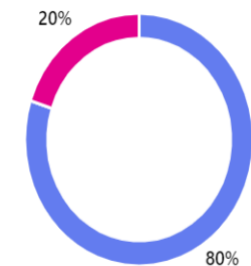
あなたと指導する生徒との関係は、どのように感じていますか。

- かなり良好 2
- 良好 3
- 少し良好でない 0
- 良好でない 0



あなたと一緒に指導する教員や他の指導者との関係は、どのように感じていますか。

- かなり良好 4
- 良好 1
- 少し良好でない 0
- 良好でない 0



広報資料

【児童・生徒への参加啓発チラシ】

伊都 バレーボール コミュニティ(地域共同体)
ITO VOLLEYBALL COMMUNITY



BRUJULA (ブルッフラ) BRUJULA_VOLLEYBALLCLUB

男女部員募集

★新中学1年生の皆さん

地元の地域クラブ「ブルッフラ」で一緒にバレーボールをしませんか！一緒に地方大会優勝をめざし、さらに県大会で上位を目指しませんか！！

【主な成績】
令和5年度 和歌山県 U-14クラブチーム大会 3位
令和5年度 伊都地方中学校バレーボール 冬の大会 優勝

★新小学6年生の皆さん

1年早くバレーボールを始めて中学バレーで活躍する選手をいっしょに目指しませんか！！

マンガのようなコンビバレーにチャレンジ&楽しもう！

■バレーボール体験の曜日と時間

- 毎週月曜日 18:45~20:45 妙寺中学校 体育館(新中学1年生)
- 毎週火曜日 18:45~20:45 妙寺中学校 体育館(新中学1年生・新小学6年生)
- 毎週金曜日 18:45~20:45 妙寺中学校 体育館(新中学1年生・新小学6年生)

★ぜひ一度、体験に来て下さい。 ※3/29(金)は休み

■持ってくるもの 体育館で動けるシューズ 飲み物 タオル

■服装 動きやすい服

和歌山県バレーボール協会
伊都支部 支部長 野田 幹也



初心者大歓迎！！

一緒にバレーボールしようぜ！！

排球部員 集まれ！

中学生男子！

募集集中！！

新中学1年生・女子(現在県ベスト5)も同時募集中！！

中学生男子チームついに

R7.4月より本格始動！

すべてのバレーボーラーを応援します！！
「週刊少年チャンピオン」にて大好評連載中！！

BRUJULA-ブルッフラ-

中学校にバレー部がない まずは体育館まで見に来て下さい！
子が集まっています。

火金:18:30-21:00妙寺中
木:19:00-21:00三石小

※本画像は部活募集の使用許可されてある画像を使っております。

広報資料

【妙寺クラブ「MAC便り」】

妙寺アスリートクラブ (M・A・C) だより 第1号
2024. 8

平素は、MACの活動にご理解、ご協力をいただきありがとうございます。
本クラブは、2023年5月に妙寺中学校の生徒3名を対象に、「中学校の部活動の地域移行」の取組として、かつらぎ町教育委員会からの要請とNPO法人「憩楽(いこら)クラブかつらぎ」の協力を得て設立されました。昨年度は、中体連の大会や陸上競技協会主催の記録会に参加するとともに、笠田中学校の陸上競技部とも連携し活動して参りました。
本年度より、「クラブチーム」として正式に出発し、現在、中学生3名と小学生5名に入学していただき、かつらぎ公園を中心に活動しております。
先日、選手たちの役割も決めて、協力してお互いを高められるチームを目指し頑張りたいと思います。
改めてスタッフと選手の紹介をさせていただきます。

指導者
主 将

～ 略 ～

中・長リーダー

メンバー

短距離リーダー

メンバー

～ 略 ～

※8月中旬より、新しいメンバーも加入予定です



夏休みに入り、猛暑が続いています。ご理解もあって午前7:15から練習に励んでおりますが、今一度、食事・睡眠・水分補給に気をつけて乗り越えていきたいと思っております。ご協力よろしくお願いいたします。
また、家庭学習も計画的にやってほしいと願っています。今以上に選手の成長や記録向上に少しでも力になれるように頑張ってください。

妙寺アスリートクラブ (M・A・C) だより 第2号
2024. 9

MACの活動にご理解、ご協力をいただきありがとうございます。
夏休みは、最大男子6名、女子4名、計10名(小学生6名、中学生4名)が、午前7:15から練習に取り組みました。その成果もあって、それぞれが精神的・体的に向上し、多くの選手が自己記録を更新しました。
陸上競技は、個人的なスポーツですが、キャプテンやリーダーを中心に役割を決めて取り組んでいる結果、協力し合い、声をかけ合い、応援し、また、ライバル意識をもってお互いを高められる姿が少しずつみられ、指導に携わって者として嬉しく思います。
今後も、MACのみならず一緒に練習できることが楽しい、良かったと思えるようなチームづくりを目指して頑張っていきたいと思っております。
秋には、記録会・大会があります。選手の皆さんは、チャレンジ精神で自己記録の更新を目指して、がんばってほしいと思っております。

夏休みの練習風景



広報資料

【妙寺クラブ「MAC便り」】

M A C だより

第3号

2024. 10

MACの活動にご理解、ご協力をいただきありがとうございます。
「走り」を通して選手たちは成長しています。たかが「走り」されど「走り」
10月2日アンケートから

●いろいろな想いで入部してくれました

- 陸上をしたい（中学校に陸上部がなかったから）
- 高校で陸上をするから
- 中学生が走っているのを見てやりたくなった
- 妹が入っていたから
- さそわれたから
- 友だちがやっていたから
- 走るのが好き
- 走りて体力をつけたい
- 走り方が知りたい
- 走りが速くなりたい
- 走りの体験入部をして、楽しそうだったから
- 走りが速くなって、他のスポーツにも生かせたい
- 走りの記録を伸ばしたい
- マラソン大会や陸上の大会に出場して、力試しをしたい など

●入部してよかったこと

- 練習仲間が増えて、仲良くなって、楽しい
- 練習は辛いけれど楽しい
- 正しい走り方やフォームを知ることができた
- フォームが良くなった
- 高校で陸上をするための良い練習になっている
- 運動不足が解消できている
- 長距離が速くなった
- 走ることが得意になった
- 足が速くなった ○足に自信がつくようになった
- 記録が出て嬉しい
- よく食べるようになった など

●これからMACを良くしていくには

- メンバーを増やす ○SMSなどにアップすること
- 大きな声を出す（多数） ○アドバイスをし合いする

●保護者の感想

- 友達に誘ってもらって、体験入部をして、本人がやってみたくて言ったから、今は楽しそうにしています。体力もついたと思います。手厚く指導していただいて、有難く思っています。
- 走り方を見直して、改善できたらと思います。
- 友達が入部していて、気になったようで入部しました。今は放課後が充実し、自主的に練習するようになった。おらかなご指導でありがたいです。

●指導者が感じること 期待したいこと

- 真面目に練習に来てくれる ○協力し、励ませるようになってきた
- 準備や片付けを率先してできるようになった
- 元気にあいさつ・かけ声・号令・返事ができるようになってきた
- 走り方が格好よくなってきた ○体力がついてきた
- 練習日誌は面倒ですが頑張してほしい
- 生活リズムを整えてほしい ○勉強と両立
- よく（練習・食べる・勉強・睡眠） ※スポーツと食事（貧血編 参照）
- 活動を通して、自ら考え・学び・行動できるアスリートになってほしい
- できる限り、選手たちの想いを叶えてやりたい
- 家庭・小学校・中学校と連携し、子どもたちを見守っていきたくて思います
- 保護者のご協力、ご理解がありがたい
- ※良い出会いと日々選手の頑張りで、私たちも充実しています。
- 季節の変わり目、体調を壊しやすい時期です。練習で汗をかいたら、すぐに着替えられるようにTシャツの着替えやタオルを持たせてください。

トラックシーズン（競技場での大会等）から**マラソン・駅伝シーズン**になります。
目標をもって頑張りましょう。

自己記録更新・大会で活躍

今年の成績

広報資料

【妙寺クラブ「MAC便り」】

MAC たより 第4号（11月）

平素は、MACにご理解ご協力をいただきありがとうございます。

トラックシーズンも終わり、マラソン・駅伝・冬季練習のシーズンに入ります。

この期間は、基礎・基本を大切に、体力や持久力を高め寒い冬を乗り越え、春には大きく成長してほしいと願っています。また、新入部員や体験入部員が加入してくれました。

改めてMAC（妙寺アスリートクラブ）のご紹介をさせていただきます。

- 事務局 かつらぎ町教育委員会 特定非営利活動法人憩楽（いこら）クラブかつらぎ
- 対象 小学生・中学生・一般（地域は問わず）
- 目的 当クラブは、青少年及び一般人のスポーツの振興を図り、発達段階に応じて陸上競技の競技力向上と、健全な心身を育成することを目的とする。
- 会費 検討中（現在は無料）
その他諸費用：スポーツ安全保険加入料 大会等参加料
- お問合せ 0736-22-0303（かつらぎ町教育委員会教育総務課 森下）
- 指導者 2名及び特別講師
- 事故の対応 活動中（自宅から活動場所への移動中含む）の傷害については、スポーツ安全保険の範囲内の対応とする。
- 活動日 火曜日（16：15～） かつらぎ公園（練習時間1～2時間程度）
活動場所 木曜日（16：15～） かつらぎ公園（練習時間1～2時間程度）
土曜日（8：00～） かつらぎ公園（練習時間1～2時間程度）
または（8：30～） 笠田中学校で合同練習（地域部活動の関係）
※春季・夏季・冬季休業中の開始時刻や曜日は別の日程で行う。
※練習日・活動場所は、事前に月毎に計画をお知らせします。
- 練習参加にあたって
 - 練習のできる服装 ●体操服上下・Tシャツ・短パンまたはハーフパンツ
 - 運動靴（歩く・走るのに適した靴）●季節によってウインドブレーカーなど
 - 飲物 ●汗をかいたときの着替えやタオルなど
 - ◎練習日誌（毎日の運動した内容と感想を書いて提出ください）
- クラブの具体的な目的
 - 競技力アップ = 陸上の大会や記録会に出場して、記録向上を図る。
 - 教室 = 走り方や基本の動きを体得することを目的とする
 - 体力アップ = 「走り」を通して体力の向上を図る
 - 体験 = 興味があって体験してみる 見学でも構いません
 - 一般 = ウォーキング・ジョギング・体力づくり・子供たちの援助

スポーツとケガ・故障 MAC

（ケガ） スポーツ中に限らず、転んだり、ぶつかったり、捻ったり、ボールが強くとたったりなど、偶発的な事故で身体にダメージをうけること。

（故障） 身体に少しずつダメージをうけていく状態。疲労から過労になり、さらに病氣（病的疲労）になった状態。

原因

用具（靴などの用具が悪いとき）
環境（コートや路面などのスポーツ環境が悪いとき）
テクニック（身体の使い方が悪いとき）
バランス（体の姿勢やバランスが悪い）
練習内容（練習量が多いときや、練習内容が悪いとき）

種類

突き指・足関節の捻挫と靭帯断裂・膝関節の靭帯断裂・半月板損傷・シンスプリント
疲労骨折・腰痛・オスグッド病・膝痛・踵痛・腰椎分離症・野球肘・野球肩・テニス肘など

予防

ウォーミングアップ
クーリングダウン
ストレッチ・体操
アイシング
筋肉トレーニング
テーピング 基本の動きを見直す など
スポーツは身体に良いと思込んでいませんか、身体に害もあるということです。

食事を取らずに運動する
発達段階を考えず無理な運動をする
基本を大切にしないで、テクニックや技術が悪い
オーバーワーク（やり過ぎる）
心・技・体のバランスが悪い
集中力が無い
あわてる
睡眠不足 など

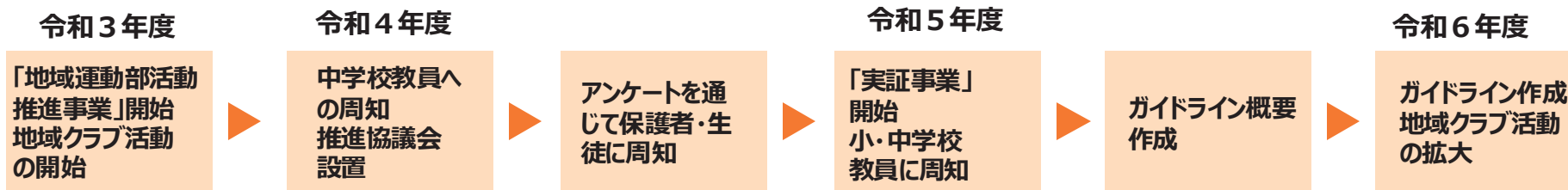
よく食べて・基本を大切にコツをつかんで練習して・勉強して・よく眠る

何かあれば相談する

ケガや故障があったときは、あせらず、できることをやって、次へのチャンスと考えること。何よりも**予防**を心がけることが大切です。

次は、**スポーツの競技力アップ**について考えてみます

地域スポーツクラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス



ステークホルダー

学校、総合型地域スポーツクラブ、競技団体
推進協議会委員、町長部局、町教委

経過

令和3年度より「地域部活動推進事業」を受託し地域クラブ活動を開始した。令和4年度に、中学校全教員、保護者、生徒に周知をした。また、推進協議会を設置した。令和5年度に、「実証事業」を受託するとともに、町内全小・中教員に周知した。また、コーディネーターを新たに置き、学校・地域・生徒・保護者間の合意形成に努めている。令和6年度は、「実証事業」を受託するとともに、ガイドラインを作成し、地域クラブ活動の拡充を図っている。

実施内容

完全移行した地域クラブは2クラブ。また、地域指導者と兼業兼職の教員と一緒に指導する部活は4部活である。アンケート結果等からも生徒や保護者、地域指導者、兼業兼職で地域指導者と一緒に指導する教員の満足度は高い。

実施にあたって生じた課題

- 慢性的、将来的な指導者不足。
- 教員が兼業兼職で学校の部活を離れ地域クラブでの指導を模索したが、指導者資格を取得しておらず中体連大会に出場できない。
- 休日のみならず、平日の指導を求める声があったが、指導者の仕事や家庭の都合により実現しなかった。

今後の展開

- 令和7年度から、町内2中学校のバスケットボール部において、平日を含めた活動を実施する。また、男子のバレーボールクラブ設置に向け、指導者は確保済みであり、現在パンフレットを作成し部員の確保に奔走している。さらに、総合型地域スポーツクラブと連携し、新たに「ゆるやかなクラブ（マルチクラブ）」やサッカーチーム、軟式野球チーム設立を模索していく。
- 持続可能な地域クラブの運営のために、会費等負担の必要性について合意形成を図っていく。

3. 今後の方向性

地域連携・地域移行の推進に向けたロードマップ								
	R6 (2024)	R7 (2025)	R8 (2026)	R9 (2027)	R10 (2028)	R11 (2028)	R12 (2029)	R13 (2030)
かつらぎ町	改革推進期間 (平日の移行も目指す) (状況に応じ教員と地域指導者が一緒に指導し段階的に移行)		改革実行期間 (前期)			改革実行期間 (後期)		
県	改革準備期間 (まずは休日の部活動から段階的に移行)			地域クラブ活動の充実		各市町村が、地域の実情に応じて、地域・学校で持続可能な活動を実施する		
中体連				全国大会の縮小			大会の在り方の見直し	新しい形での大会実施？

令和6年度

地域スポーツクラブ活動体制整備事業

地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

和歌山県湯浅町 (協力：広川町)

自治体名：和歌山県湯浅町

担当課名：教育委員会 学校教育係

電話番号：0737-63-1111

1.自治体の基本情報

基本情報

面積	20.8 km ²
人口	10,706 人 R7.2月1日時点
公立中学校数	1 校
公立中学校生徒数	273 人
部活動数	15 部活
市区町村の協議会・検討会議等の設置状況	設置済み
市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況	令和7年度策定予定

地域連携・地域移行における市区町村の現状・課題

湯浅町は1町1中の学校配置であり、令和6年度湯浅中学校は全校生徒273名の学校規模である。部活動では文化スポーツ部が15種目に入部が可能な状況であり、学校外の地域スポーツでは硬式野球やバドミントンといった中学生が加入できるスポーツ団体が存在している。

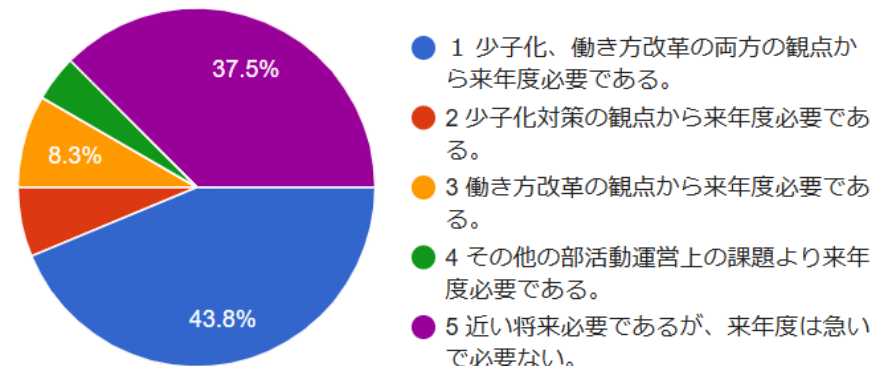
本町の部活動改革において解決していくべきポイントが2つある。1つは、少子化により子供たちの文化スポーツの活動環境が十分に整備されていないという点である。10年後に当たる令和15年度には湯浅中学校の生徒数が現生徒数から100名減少されることが見込まれており、今後教員数、生徒数の減少による部活動の閉鎖が懸念されている。本町だけではなく、有田地方の中学校生徒数を総合的に分析すると、令和15年度には生徒数が約30%減少することが見込まれ、湯浅町単独では減少率約45%という数字も出ている。子供たちが選択できる種目の

減少がさらに深刻化し、将来の子供たちの体験活動が保障できないものとなっている。下記のアンケートのように、教職員の50.1%が少子化対策の観点から部活動地域移行等の対策が必要であると感じている。

2つ目の課題は、1町という狭いエリアの中、部活動指導員や地域クラブ活動を行える指導員を地域人材から全ての種目を確保していくことが非常に困難であるという点である。総合型地域スポーツクラブは設立されているが、指導者が確立されていないことや中学校体育連盟へ主催大会への参加を示すような団体ではないことであり、現状の本町の受け皿と考えることは難しい。また、体育協会に登録されている団体の中で、地域の中学生の体験活動の受け皿となるような意思を示す少年スポーツクラブや競技団体がまだまだ発掘できていない状況である。

【湯浅町広川町教職員アンケート】（R5.11.21実施 n=48）

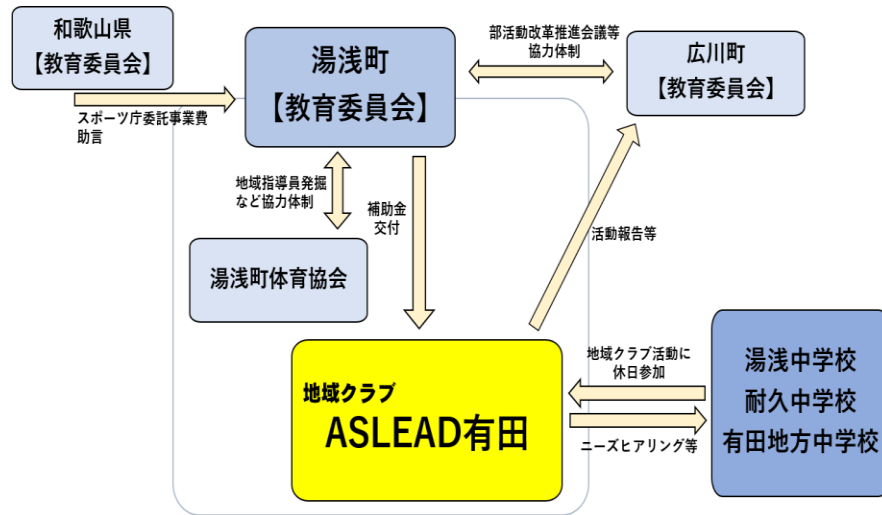
あなたが担当する部活動は、令和6年度部活動改革における地域移行は必要であると考えますか。



2.実証内容と成果

運営体制・役割

●運営体制図（市区町村における推進体制図）



●行政組織内での役割分担

◎教育委員会

- ・地域クラブASLEAD有田の事務局を置き、各中学校や地域における各部署との会議の連絡および調整や、指導員の地域人材の発掘などにおける事業のコーディネートを行う。

◎首長部局

- ・地域クラブASLEAD有田の地域における周知活動や地域人材発掘における広報活動に協力する。
- ・補助金交付などの調整を行う。

年間の事業スケジュール

令和6年4月	ASLEAD有田総会の開催
令和6年6月	ASLEAD有田第1回理事会の開催
令和6年7月	中体連主催大会出場
令和6年9月	企業・大学と連携した練習会の開催
令和6年10月	ASLEAD有田第2回理事会の開催
令和6年11月	中学校ヒアリング
令和7年12月	小学生を対象にした体験会の開催
令和7年1月	会員・小学校6年生・教職員を対象にしたアンケート調査の実施
令和7年2月	ASLEAD有田第3回理事会の開催

2.実証内容と成果

地域スポーツクラブ活動の運営実績

①全体に関すること

中学校数	3校	実施した地域クラブ総数	4クラブ（3種目）
ケース別クラブ数	A：部活動を地域移行した形のクラブ数（及び移行された部活動数）		4クラブ（3種目）
	B：部活動を移行する形態ではない地域クラブ（新たな種目のクラブを新規に創設するケース等）		0クラブ
全体の指導者数	14人	全体の運営スタッフ数	12人

②各クラブに関すること

クラブ名	運営団体種別	種目 ※新規のものは末尾に（新）を付ける	実施回数	実施時間帯	参加者 (学年別)	実施期間	活動場所	指導員数	会費	大会参加方法
ASLEAD有田 バスケットボール部	教育委員会 設立の地域 スポーツクラブ	バスケット ボール部	月 5回/ 週 1回	【練習】 9:00~12:00 【大会・練習試合】 終日	中1:15名 中2:19名 中3:17名	年間	中学校体育館 湯浅町・広川町 公共施設	6人	なし	中体連： 地域クラブ
ASLEAD有田 剣道部	教育委員会 設立の地域 スポーツクラブ	剣道部	月 5回/ 週 1回	【練習】 9:00~12:00 【大会・練習試合】 終日	中1:6名 中2:3名 中3:7名	年間	中学校体育館 湯浅町・広川町 公共施設	4人	なし	中体連： 地域クラブ
ASLEAD有田 野球部	教育委員会 設立の地域 スポーツクラブ	野球部	月 5回/ 週 1回	【練習】 9:00~12:00 【大会・練習試合】 終日	中1:4名 中2:6名	令和6年 9月より	中学校グラウンド 湯浅町・広川町 公共施設	4人	なし	中体連： 部活動

③その他、体験会やイベント等の開催実績

- 【バスケットボール部】紀陽銀行バスケットボール部ハートビーツ主催クリニック参加
- 【剣道部】和歌山大学開催の練習会参加
- 【野球部】元プロ野球選手における練習会参加
- 【小学校6年生対象】ASLEAD有田体験会開催

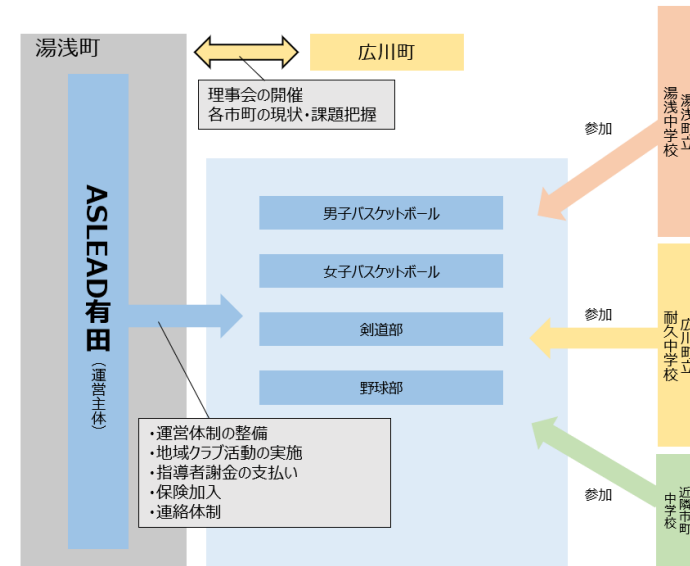
2.実証内容と成果

主な取組例

●地域クラブASLEAD有田 活動概要

地域クラブ活動で実施した種目	バスケットボール部・剣道部・野球部
運営団体名	ASLEAD有田
期間と日数	バスケットボール：年間通じて月5回程度 剣道：年間通じて月5回程度 野球：令和6年9月より月5回程度
指導者の主な属性	中学校教職員、役場職員、消防職員等
活動場所	中学校、湯浅町・広川町公共施設
主な移動手段	徒歩、自転車、保護者送迎
1人あたりの参加会費等（年額）	参加費なし（遠征費等別途）
1人あたりの保険料	スポーツ安全保険 生徒1人あたり：800円/年 指導者1人あたり：1,850円/年

●運営体制図（地域クラブ活動を実施する際の運営体制図）



●指導者や運営スタッフなどの役割分担等

●理事会

役割：教育委員会・体育協会を中心にクラブ運営および管理を行う。

●代表指導員 3名

役割：各種目の地域クラブ活動における代表として、生徒への指導を行う。

●指導員 14名

役割：各種目の地域クラブ活動において、生徒への指導を行う

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



スポーツ庁

取組内容

●取組項目名 ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

取組事項

地域クラブ「ASLEAD有田」の事務局を湯浅町教育委員会内に設置し、事務局は総会、理事会、そして学校教職員のヒアリングができるような部会の開催を調整し、コーディネートを行う。広川町の両教育委員会の代表者および指導主事、体育協会委員を招集し、規約の改廃、事業の計画や予算の承認、地域人材の発掘、新たに移行できる文化スポーツの種目の検討、指導員の資質向上を図る研修などの取組を行う。

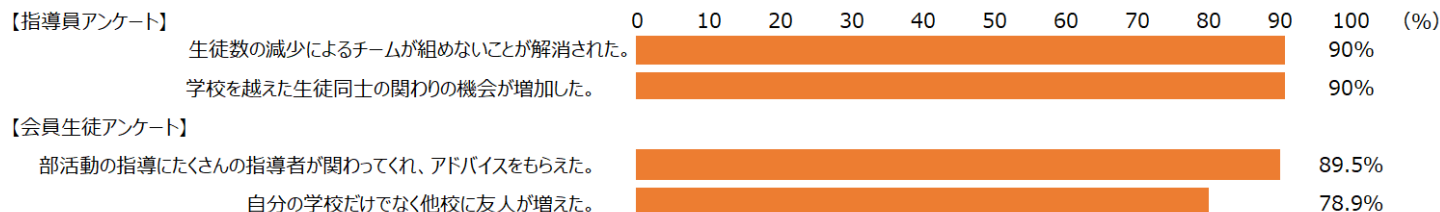
「ASLEAD有田」を設立し、湯浅中学校・耐久中学校の野球部、剣道部、男女バスケットボール部の休日の部活動を、地域クラブ活動として行う環境を整備する。また、生徒や保護者の合意形成が得られた種目はASLEAD有田として中学校体育連盟主催大会に出場できるよう申請を行う。

取組の成果

令和6年度の運営取り組みとして、総会1回、オンライン理事会3回、管理職をはじめとする学校ヒアリング各校2回ずつ行った。地域クラブに対しての地域間での考え方が様々であり、方針を統一していくことに困難が見られたが、生徒・学校のニーズに合わせて活動することが優先できた。特にアンケート調査は、生徒や教職員の困り感を把握し、次年度へのよりよい運営方針の策定への大きな参考となった。部員不足により、これまで大会に出場できなかった生徒を救済できる団体が設立されたことについては、生徒や指導員から非常に評価されており、環境整備について概ね達成できたと考えている。仲間が増えることにより活気を取り戻した選手たちは、練習に意欲的に取り組み、中体連加入の初年度から近畿大会出場といった好成績を収めることができ、生徒の自己肯定感が向上したと考えられる。

【指導員・会員生徒アンケート】

ASLEAD有田（地域クラブ）を運用して、良かったと感じられる効果を選択してください（12項目より選択）



コーディネーターの具体的な動きの実績

コーディネーターとして、学校教育である学校部活動と社会教育活動である地域クラブ活動をつなぎやすい役職であったため、教育委員会指導主事が務めた。事務局としても活動し、各機関との連絡・調整を行った。また、収支予算の管理や、バスの手配など事務局としての活動を兼務した。

今後の課題と対応方針

初年度運営をして、アンケート結果により挙げられている「地域クラブにおける生徒指導面」、「広域の交通面」について課題として挙げられている。次年度、指導者の質の向上や運営方針をすり合わせるための研修を行うことや、公共交通の更なる活用と行った対策を講じていきたい。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 イ：指導者の質の保障・量の確保

取組事項

- ・日本スポーツ協会公認スポーツ資格の取得を促進する。
- ・指導員の資質向上のため、スポーツハラスメントやコーチング等研修会やアドバイザーを招へいた講演会を実施する。
- ・体育協会や少年スポーツ競技団体と連携した地域人材での指導員の募集や、企業や大学と連携した派遣指導員を確保する。

種目

- ・女子バスケットボール部
紀陽銀行女子バスケットボール部ハートビーツによるクリニックを実施
- ・剣道部
日本スポーツ協会公認資格1名取得
- ・軟式野球部
元プロ野球選手による講習会を実施

指導者属性

職業

- ・教職員 10名
- ・役場職員 2名
- ・消防職員 1名
- ・パート職員 1名

取組の成果

- ・日本スポーツ協会公認資格（スタートコーチ）を1名取得し、次年度3名の取得予定を予定している。
- ・元プロ野球選手の練習方法やコーチングについて、指導員に向けた講習会を行うことができた。
- ・ASLEAD有田理事会に体育協会会長・副会長を組織することで、情報共有やニーズ把握を行うことができた。



【写真左 元プロ野球選手における指導法を学ぶ地域クラブ指導員のようす】

【写真右 実業団バスケットボールクリニックにおいて指導法を学ぶ地域クラブ指導員のようす】

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 ウ：関係団体・分野との連携強化

取組事項

○地域の公共交通サービスや自家用有償旅客運送等の送迎サービスを利用して生徒の送迎を行う。
○湯浅町内だけでなく、他町と歩調を合わせていくために、各中学校に情報収集および説明を行う。

取組の成果

地域クラブへの参加対象地域が広域になることで送迎負担が大きくなることが懸念されていたが、各エリアの保護者で配車の当番などを決め、柔軟に対応できていると報告を受けている。実際に教職員アンケートで30%、会員生徒アンケートで24.5%が「負担が増えた」という回答しているが、少数に留まっているといえる。また、県内外の遠征に対し、地域のバス会社と連携し、中学校部活動の交通費補助に相当する対応を取ることができた。

【指導員・会員生徒アンケート】

ASLEAD有田（地域クラブ）を運用して、課題だと感じられることを選択してください（8項目より複数選択）

【教職員アンケート】

地域移行を運用して送迎など家庭への実務的な負担が大きくなった。

0 10 20 30 40 50 (%)

【会員生徒アンケート】

送迎などお家の方の負担が増えてしまった。

バス等の運行実績

- ・日数 4日
- ・利用者数 80人
- ・運行経路
湯浅町 → 和歌山市、京都市、大阪市

バス等の運航経費・収入

- ・利用料【目的：大会・練習試合等のバス利用】
湯浅町→京都府（216,960円×2日間）
湯浅町→大阪市（132,980円）
湯浅町→和歌山市（90,000～100,000円）

今後の課題と対応方針

・へき地において、路線バスの活用を考えていたが、運用本数が少なく、活用しづらい現状があった。今後は、大会や練習試合機会でのバスの活用機会を増やすことや、休日の練習では、生徒を移動させることに加えて、指導者が各中学校の指導に回るといった方式も検討すべきである。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 エ：面的・広域的な取組

取組事項

- 中学校に設置している運動部活動の一部種目の休日の活動を地域に移行する。
- 湯浅町と同規模の市町と連携を取り、地域クラブの理事会等を開催する。

各自治体の役割

- 湯浅町教育委員会
- 他市町教育委員会、体育協会、総合型地域スポーツクラブと推進会議を行う。
 - 中学校のヒアリングを行う。
 - 本実証事業の会計事務を行う。
 - 保護者への説明会の実施
- 広川町教育委員会
- 湯浅町と合同で推進会議を開催する。

事務局運営の方法

- コーディネーターについて
湯浅町教育委員会指導主事が兼務して行い、他市町、体育協会、総合型地域スポーツクラブとの連絡および調整を行う。
- 理事会開催・会計事務に関して
湯浅町教育委員会学校教育係とASLEAD有田事務局の人員を一致させて行う。

取組の成果

- 湯浅町、広川町の2町のための地域クラブ設立であったが、同地方に限り、部員不足により大会参加や練習環境が整備できない生徒に限り、受け入れを行うことができた。
- 中学校校長のヒアリングから、移行が必要な種目を見極めることができた。

今後の課題と対応方針

アンケートの結果より、運用してみても会員生徒の混乱は少なかったと考えられる。しかし、指導員の中の困り感として、中学校部活動の予算面や部活動の意識面で市町差を感じる事が挙げられている。学校や地域間のニーズを同時に叶えていくことは難しい課題ではあるが、小中学生や教職員へのアンケート調査の結果をもとに、移行種目を増設を検討していきたい。

【会員生徒アンケートより】
地域クラブ活動において課題だと感じられたことを選択してください。
○運用して課題は見られなかった。(50%選択)
○学校の先生と地域クラブの指導員の指導が違い、混乱してしまった。(15.8%選択)

【指導員アンケートより】
自由記載
○違う学校どうしが同じチームとして一緒に遠征に行けるので、生徒の技術面やチームワークが向上した。
○部活動のそもそもの熱量や、平日、休日の活動規定において学校差があり、混乱した。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
 イ：指導者の質の保障・量の確保
 ウ：関係団体・分野との連携強化
 エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
 カ：参加費用負担の支援等
 キ：学校施設の活用等
 ク：その他の取組



取組内容


●取組項目名 オ：内容の充実①

取組事項

○児童、生徒、保護者、教職員、地域住民のニーズを調査するためのアンケート調査を実施する。

○生徒が地域スポーツクラブ活動の運営に参画して活動を支える機会を設け、体験会や説明会を実施する。

※右表には「元プロ野球選手における軟式野球講習会」の一例を示す。

活動の詳細			
参加人数	80人	指導者数	12人
属性	元プロ野球選手における講習会および小学校体験		
具体的な内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ASLEAD有田軟式野球部に向けて元プロ野球選手（現野球パーソナル指導者）に技術指導を行っていただいた。 ・指導員に向けて、技術指導やコーチングの方法を教授いただいた。 		
子供の声	<ul style="list-style-type: none"> ● キャッチボールの方法等、普段気にしない大切なポイントに気付くことができました。 ● バッティングの際、常に打球を打ちに行く意識を持つことを再確認できた。 ● 同じ地域の仲間と練習ができて非常に楽しかった。 		
関係者の声	<ul style="list-style-type: none"> ● 通常の部活動の練習時間では、体の使い方や自由に考えて練習できる時間が取れないことが多いので、野球以外の体の使い方において勉強となる有り難い機会であった。 ● 同じ地域には、少子化でチームが組めず、中学校で野球を辞めてしまう選手も多い。そのような子供がこの日のように一緒に練習できる環境作りとして今後更に事業を拡大してほしい。 		
運営経費	紀三井寺公園野球場使用料 石灰代金 講師謝礼 ※本実証事業費より支払い		

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
 イ：指導者の質の保障・量の確保
 ウ：関係団体・分野との連携強化
 エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
 カ：参加費用負担の支援等
 キ：学校施設の活用等
 ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 オ：内容の充実②

取組の成果

ASLEAD有田小学生体験会の実施

○小学校の体験会を行い、バスケットボール部4名、軟式野球部3名、剣道部5名に参加してもらうことができた。その際、保護者への地域クラブの説明を行うこともでき、事務局と直接質疑応答ができる機会が設けられた。保護者の感想であるが、「小学校時代から少子化の影響を強く感じてきたため、本事業を進めていくことに強く共感できた」という意見をいただいた。

○体験会は事務局、指導員で企画を行っているが、当日の受付、駐車場係、練習サポートといった運営に対し、会員の中学生が中心となって行った。本事業の趣旨を現会員にも改めて周知する機会となり、地域クラブを会員生徒自身で盛り上げていくことへの意識が向上した。

○右図のとおり、次年度の会員内訳に関して、各中学校単独では大会出場規定の人数に満たない種目がある。体験会参加の小学生の入部や複数校が集まってチームが編成できることを考慮すると、今後も継続して地域クラブ活動ができることが推測できる。

【令和6年度会員生徒内訳 * 次年度部員数予想のため、3年生を除く】

	Y中学校	T中学校	その他中学校	
【男子バスケットボール部】				
体験参加小学校6年生	1	0	1	合計 14名
1年生	6	5	0	
2年生	4	7	0	
【女子バスケットボール部】	Y中学校	T中学校	その他中学校	
体験参加小学校6年生	2	0	0	合計 16名
1年生	4	2	0	
2年生	1	7	0	
【男子剣道部】				
体験参加小学校6年生	0	1	0	合計 7名
1年生	5	0	0	
2年生	0	1	0	
【女子剣道部】				
体験参加小学校6年生	0	2	2	合計 9名
1年生	0	1	0	
2年生	0	0	4	
【軟式野球部】	Y中学校	T中学校	その他中学校	
体験参加小学校6年生	0	3	0	合計 14名
1年生	4	0	0	
2年生	4	2	0	

今後の課題と対応方針

○本体験会に出席した家庭には、技術向上のため平日の部活動参加も希望され、転出を検討されているという意見をいただいた。地域の中学校に通学しながら、本地域クラブに参加できるよう、平日の地域展開を検討していくことが課題として挙げられる。

○試行種目のみの体験会であったため、中学校で他種目を検討している児童は対象外となっていた。令和7年度以降も更なる種目の拡大を検討し、生徒自身がやってみたい、挑戦してみたいと考えるスポーツの機会確保に努めていく。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
 イ：指導者の質の保障・量の確保
 ウ：関係団体・分野との連携強化
 エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
 キ：学校施設の活用等
 ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 カ：参加費用負担の支援等①

取組事項

○中学校体育連盟主催大会に係る参加費や登録料、および運搬費を負担する。

地域クラブに係る経費

■イニシャルコストの分析

- ・中学校体育連盟登録費（8,000円）
- ・各種目連盟・協会登録費（61,930円）
- ・貸出ユニフォーム等の消耗品費（840,000円）
- ・事務用品（会長印等）

■ランニングコストの分析

- ・指導者謝金（4月～2月 2,902,405円）
- ・旅費（大会バス手配等 441,045円）
- ・保険料（90,980円）

※通常の活動は中学校部活動と同等の捉えとして、中学校体育館や町立体育館などの施設を減免使用している。

持続的な運営に必要な受益者負担額の試算

令和6年2月20日までの支出データより試算している。
 受益者負担に必要な金額として、部活動指導員の国費・県費・市町村費（1：1：1）として算出して、令和6年度総事業費試算を行った。

総事業費		4,999,408
町負担（総事業費の1/3と検討して）		1,666,469
内訳	寄付額予想	110,000
	受益者負担	1,556,469
1家庭負担予想		20,214

収支バランス

収入内訳	項目	金額
都道府県委託料	スポーツ庁費	4,664,796円
	町費負担	224,612円
	保護者負担	0円
自己調達	特定寄附等	110,000円
	収入内訳	項目
人件費・賃金	協議会・理事会運営費	16,000円
	事業費	諸謝金・旅費等

令和6年2月20日までの収支バランスを記載している。

支出項目の事業費については、58.1%が地域クラブ指導員に関する謝金である。このランニングコストをどう補填していくのが、今後の課題である。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
 イ：指導者の質の保障・量の確保
 ウ：関係団体・分野との連携強化
 エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
 キ：学校施設の活用等
 ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 カ：参加費用負担の支援等②

取組の成果

大きく3つ項目における参加費用負担を実施した。

【保険料】

学校部活動における「日本スポーツ振興センター」における保険内容に相当するものとして、スポーツ安全協会保険に加入している。この費用に関し、町負担を行った。

【活動会場費】

ASLEAD有田を中学校部活動に相当すると捉え、中学校・町立体育館使用費を減免措置を行った。

【大会・練習試合旅費・交通費】

現在中学校では、中学校体育連盟主催の大会参加に関して、町や学校が奨励金や旅費負担を行っている。ASLEAD有田も同等の支援を考え、宿泊費やバス借用費の一部を負担した。

今後の課題と対応方針

スポーツ活動費において、支出が大きいものとし「指導者謝金」、「旅費・交通費」、「借損料」が挙げられる。「指導者謝金」に関しては、中学校部活動は県費として支払われるため、保護者負担は発生していない。ASLEAD有田は中学校部活動の休日の移行団体であるため、部活動との併存として活動している。この項目に保護者負担を求めに行くのは現状

	項目	金額	備考
スポーツ活動費	諸謝金	2,902,405	
	旅費・交通費 (大会宿泊費等)	441,045	
	借損料 (大会練習試合バス等)	629,390	
	消耗品費 (ユニフォーム代等)	849,658	
	雑役務費 (大会参加費)	69,930	
	保険料 (スポーツ保険加入)	90,840	R7より 自己負担検討

スポーツ活動に係る総事業費の合計額4,997,808円を、会員生徒数77名で割ると、1人当たり64,907円参加費用負担を支援していることになる。

(R6.4月からR7.2月 初期費用含む)

の部活動との差を生じ、理解が得られないと考えられるため、今後も国費・町費での対応を継続する。「旅費・交通費」に関しては、個人として活動するものには保護者に負担を求め、団体として大会に出場するものには、宿泊費や交通費の一部負担を検討する。令和7年度より、保険料の保護者負担を検討している。

総括・成果の評価・今後に向けて

●総括

令和5年度より計4度の推進会議を開催し、ASLEAD有田を設立した。運用初年度において、どんな経費が必要であるのか、予算項目を立案すること自体が難しかったが、変更契約を重ねながら少しずつ必要な予算を検討することができた。

特に、「指導員の諸謝金」や「大会に出場に係るバス代」への支出割合が高く、持続的な運営を行うためには、本町の自己負担だけでなく、他市町との負担金の分割や寄附金の募集等、受益者負担の対策が必要であることが見えてきた。

本町の地域クラブ設立の目的は、少子化における大会への出場機会の減少や、練習環境が整備できない部活動への支援であったが、会員生徒や指導員のアンケートからも概ね目的達成に対しての肯定的な回答が得られている。生徒の良い教育環境の一部として、地域クラブ活動が運営されたと言えると考えている。

また、働き方改革への評価として、学校教員が主体となる地域クラブであるが指導員の数を増加させることにより、教員が休みやすくなったという回答が得られているが、まだまだ改善が必要である。

●成果の評価

湯浅町1町では、地域移行は困難であったが、広川町をはじめとする近隣の市町の理解と協力のおかげで、本町の生徒の地域クラブ活動の機会充実を達成することができた。中学校3年生の生徒から、「たった1年であったが、様々な指導員の指導機会に触れることができ、自分自身の性格をプラスに変えることができたような気がした」といった有り難い意見もいただくことができた。少子化対策としての地域移行は、本町や近隣地域のニーズに合ったものであると言える。

また、教職員の働き方改革という視点では、依然として指導員構成に教職員の割合が高いものの、指導員が増えることにより休みやすい環境の整備に繋がったといえる。

初年度の運用により、新たな課題が見えてきているが、地域移行の意義を少しずつ理解していただける機会を設けることができた。

●今後に向けて

課題として、「学校教育と連携した生徒指導の充実」と「広域の交通面」、そして「予算の確保」の3点が最優先なものとして挙げられる。学校教育としての部活動の意義を切り離すことなく、生徒主体で教育活動ができるよう、指導員の質の向上や、指導方針や運営方針の更なる充実而努力していきたい。また、予算面において、「旅費・交通費」の項目について充実させたい。

令和7年度は、教職員や生徒のニーズを把握した上で更なる種目増設することを目指す。また、会員生徒の保険料を保護者負担にするといった対応から無理のない受益者負担を検討し、町で少しずつ自走できる持続可能な地域クラブ活動の運営を検討したい。

2.実証内容と成果②

実証事業を行った後のアンケート結果・参加者の声

●アンケート結果

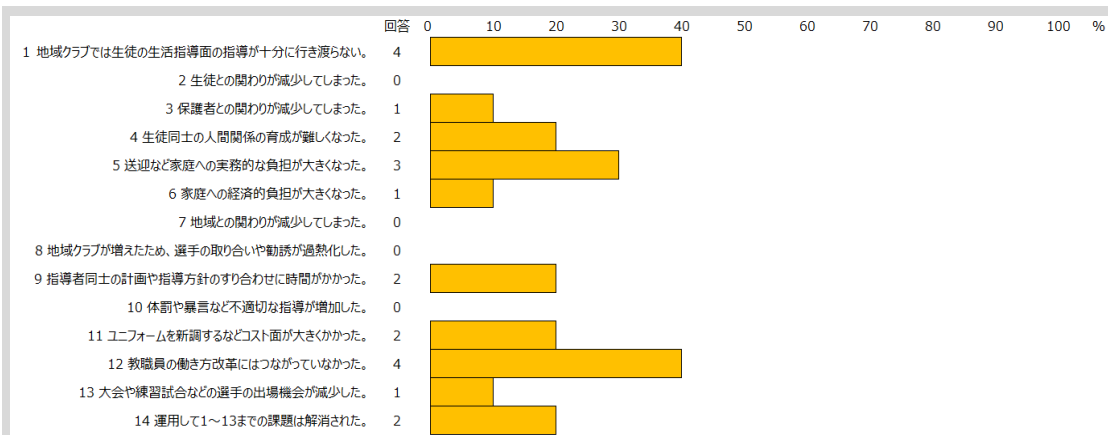
【会員生徒回答】
肯定的な回答が多かった質問内容

- 部活動の指導にたくさんの指導者が関わってくれ、たくさんアドバイスがもられた。(86.7%回答)
- 自分の学校だけでなく他校の友人が増えた。(80%回答)
- 大会および練習試合の機会が増加した。(75.6%回答)

Q.地域クラブで得られた良い効果があれば、自由に記入してください。

- （合同チームとしての活動ではなく）ASLEAD有田に入れたことでチームワークが良くなったし、助け合う場面や声掛けなどが増えた。
- コミュニケーション能力が上がった。
- 学校の部活動とやることは変わらなかったなので、最初の不安ほど混乱はなかったので、挑戦は大切であると感じた。

Q.【指導者】運用してみて依然として課題であると感じることは何ですか。（複数選択可）



●参加者の声

中学2年生 剣道部

中学校1年生の時は、部員数が足りず、大会において団体戦に参加できなかったが、仲間とともに日々頑張ることで近畿大会にまで出場することができ、地域クラブができて良かった。

中学3年生 バasketボール部

当初はライバル関係にある他校と同じチームになることに戸惑いがあったが、部活の人数が増えることで日々の練習に活気が生まれた。県大会出場もできなかった自分たちが、近畿大会まで出場することができて、自信になった。

指導員

学校部活動では、主顧問1人で指導が大変であったが、休日には4人の指導者がいるため、非常に休みやすくなった。特に、子育てにおいて、以前より休日に少しゆとりをもって過ごすことができるようになった。

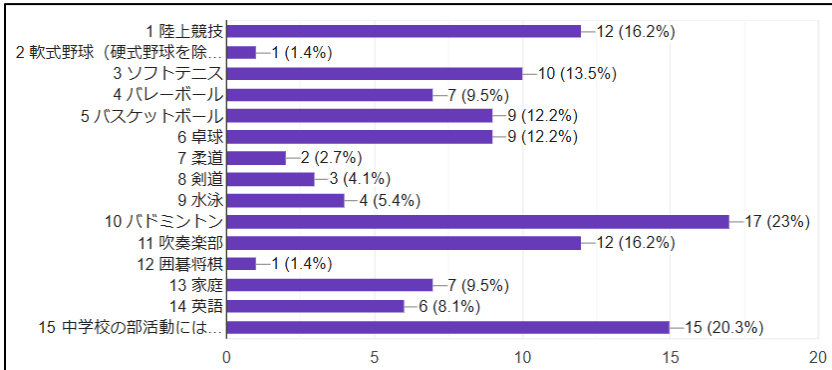
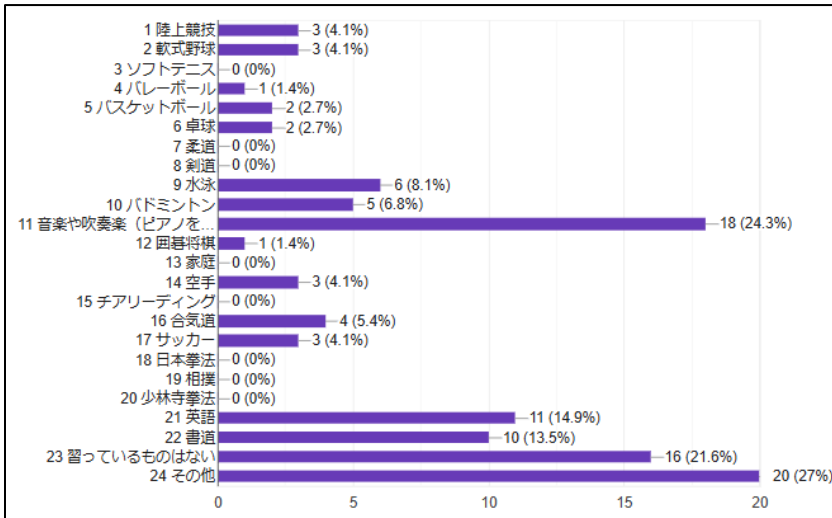
指導員

現状、少子化の影響が大きい湯浅町と広川町でチームを組んでいるが、実は中学校に野球部がなく、辞めてしまっている生徒も多い。その子供たちを救ってあげることができるよう、入部できる地域の拡大を望んでいる。

2.実証内容と成果②

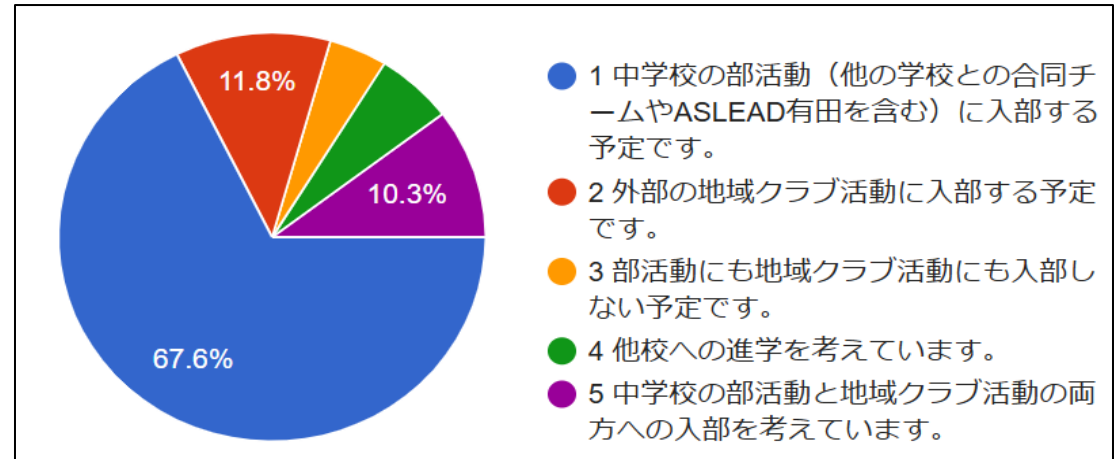
小学校6年生アンケートよりニーズを把握する

● アンケート結果（町内小学生74名回答）



【上グラフ】 今習っている種目はありますか。

【下グラフ】 町内中学校の部活動でやってみたい種目は何ですか。



【円グラフ】 中学校の部活動に入部しますか。それとも、外部の地域クラブに所属しますか。

分析と今後の課題

小学校6年生の現状として、約80%の児童が習い事に通っているが、全体の43.2%（32名回答）がスポーツクラブに所属していることが分かった。中学校での部活動に入部するか、地域クラブへ入部を検討しているかは児童によって違うが、「どちらにも入部しない」を検討している児童が4.4%（3名回答）と少数であり、ほとんどの児童が何かしらのクラブ活動を行うことを検討していることが分かる。上下のグラフ比較からも分かるように、どの種目にも小学生のニーズがあることが伺える。また、中学校部活動への入部予定が67.6%に上り、依然として中学校部活動の需要が高いと言える。学校の部活動再編を検討しながら、地域移行を同時に進めていく必要があると考えられる。

一方で、町内中学校にやってみたい部活動がないと答える割合は20.3%もいることが分かる。その中の要望として、少数ではあるが、サッカー部、ダンス部、男子バレーボール部、弓道部への入部を望む声があった。今後も当事者のアンケートを行い、ニーズを十分に見極めていくことが必要である。

2.実証内容と成果③

体験会や寄附金の広報資料

①ASLEAD有田体験説明会チラシ配布

湯浅町・広川町小学校 6年生および保護者に周知

②ASLEAD有田オンライン保護者説明会チラシ配布

試行種目保護者に周知



小学校 6年生対象
ENJOY 地域クラブ活動

ASLEAD有田 体験説明会

初心者大歓迎
軟式野球部・男女バスケット部・剣道部

令和6年12月7日(土)開催
※12月2日(月)申込

午後 13:15 受付開始
13:30 説明会開始 内容

16時頃終了予定としております。保護者の方も是非ご参加ください。動きやすい服装で来てください。

① 児童・保護者への説明会
② 申し込み種目の体験会 (バスケットボールは上履きを用意ください)

ASLEAD有田とは、湯浅町・広川町を中心とする有田地方の中学校の部活動の地域移行団体です。平日は各中学校の部活動を行い、休日を地域クラブ活動として一緒に活動し、正式な1つのチームとして中学校の大会に出場しております。少子化における部員不足を解消し、小学校のときに準備していた種目を続けることができます。また中学校から自分のやりたいクラブ活動を選択して楽しむことができます。子供たちの将来を大切に考えられる団体を目指しております。

現在、移行種目として「軟式野球部」、「剣道部」、「男女バスケットボール部」の3種目が動き出しています。今後も学校や地域のニーズに合わせて、他の運動部、文化部の地域移行化も検討しております。まずはこの3種目の予定になりますが、是非一度体験に来てみませんか？

ご予約はWEBで
<https://forms.gle/UwFjkN7YkAbmYMsX8>

有田郡湯浅町青木688-1
0737-63-1111

QRコードを読み取ってください

保護者の方へ
必要事項をご入力ください

【①ASLEAD有田体験説明会チラシ】

③「中学校部活動地域移行協力金」寄附要項および町広報誌配布

湯浅町民および地域企業に周知



有田の子供たちが 新しい部活動の形で成長できる環境を！

湯浅町・広川町は少子化の影響により、子供たちが自分の挑戦してみたい部活動に取り組みたい状況が懸念されています。スポーツや文化的活動が子供たちの成長に大きな可能性があること、地域に根ざした体験活動の環境を作り出し、新しい部活動の形を作り上げる。それが「ASLEAD(アスリード)有田」です。

POINT1 平日は中学校の部活動で実施 休日にスポーツや文化活動に取り組み始める 活動環境を整えます

POINT2 休日は「ASLEAD 有田」で部員を増やせ、中学校教職員と地域の指導者が教えます

POINT3 中体連大会には「ASLEAD 有田」でも、中学校からでも OK 生徒の選択を最優先に考えます

平日は中学校の部活動、休日に地域クラブで行います

部員・指導者を増やすことで活気あるクラブ運営を実現

部員不足で大会に出場できない生徒の受け皿を作り出す

【②部活動地域移行への理解を求めるチラシ】

事務連絡
令和6年6月吉日

湯浅町教育委員会
教育長 項内 洋

「中学校部活動地域移行事業協力金」寄附のお願いについて

平素は町行政および学校教育にご理解、ご協力を賜り、誠にありがとうございます。

さて、年々顕著になっている少子化の影響により、湯浅町をはじめとする有田地方の中学校部活動では、チームが組めず大会に出場できないことや、練習に適した人数がそろわず十分な体験活動ができていないなどの課題が生じております。今後地域の子供たちが自分の好きな文化スポーツを選択できず、体験活動の機会を失ってしまうことが懸念されております。また、教員の働き方改革の一節として、部活動を地域に移行していくことが検討されており、地域から専門性を持った指導者を雇用する必要が出てきております。

そこで、湯浅町教育委員会が主体となり、昨年12月に地域クラブ「ASLEAD 有田」を設立し、バスケットボール部、剣道部、野球部の地域移行に向けて動いてまいりました。隣接する広川町と連携を図り、未来へと継続していける団体を目指しており、今後も地域の子供たちや保護者のニーズを十分に把握しながら、種目を増やしていくことを検討しております。両町の中学校の部活動を合わせることで仲間が増え、会員の更なるモチベーションの向上が見られております。また、複数の専門的な指導員から技術指導を受けることができることが可能になっており、会員から肯定的な意見が挙げられています。

この素晴らしい環境を、持続可能な形で継続していくためには、指導員の謝金や活動のための初期商品の購入など費用が必要となっております。本クラブの活動にご賛同いただける方がございましたら、下記のとおり、寄附のご協力をお願い致します。

記

- 募集期間 令和6年6月14日(金)から令和6年11月30日(木)
- 申込方法 (様式第1号)寄附申出書を教育委員会事務局までご提出ください。
- 寄附金の種別 個人の場合 1口 5,000円
企業の場合 1口 50,000円
※寄附金の入金が確認できましてから、控除証明に必要な書類を送付させていただきます。
- 個人情報取り扱いについて
ご寄附いただきました方のご芳名を湯浅町広報誌およびASLEAD 有田ホームページに掲載させていただきます。掲載についてご希望されない寄附者の方については、その旨をお申し出いただきますようお願い致します。寄附金額を含むその他の個人情報掲載は致しません。
- 問い合わせ先 湯浅町教育委員会事務局 (ASLEAD 有田事務局)
和歌山県有田郡湯浅町青木 688-1【湯浅町役場内】
電話：0737-63-1111

【③中学校部活動地域移行協力金寄附要項】

2.実証内容と成果④

参考資料（活動写真）



【和歌山地域実業団と連携したバスケットボール講習会】



【元プロ野球選手のおける軟式野球講習会】



【中学校体育連盟主催大会への男女バスケットボール部出場】



【中学校体育連盟主催大会への剣道部出場】

地域スポーツクラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス

令和5年

地域、体育協会との
推進会議の開催

協議会設置、
検討開始

地域クラブ設立
準備委員会設置
規則の検討
試行種目の検討

令和6年

地域クラブ活動
の開始

総会、定期的な
理事会の開催

令和7年

学校部活動
地域クラブ活動
ガイドライン作成

●ステークホルダー

各小中学校、体育協会、競技団体、教育委員会

●経過

令和5年度に意見交流会として、地域および体育協会と推進会議を実施した。地域の中学校部活動の現状と課題を周知し、地域移行の目的を理解していただいた。また、地域の中学校校長、部活動担当と協議を行い、湯浅町だけでは対応できないこと、大会参加を考慮すると中学校部活動と併存する必要があることから、教職員へのアンケートを実施し、至急対応な種目を洗い出した。その後、教育委員会が主体となって任意の地域クラブを設立することが望ましいと判断し、ASLEAD有田の設立に至った。

設立後は、総会、定期的な理事会を運営し、事業の計画や予算の承認、中体連大会への出場申請等を行った。また、次年度の計画や種目増設のため、中学校長へのヒアリング、小学校6年生、指導員、会員、指導員へのアンケートを実施した。

●実施にあたって生じた課題

湯浅町は1町1中であり、少子化対策としての地域移行を推し進める上で、他市町との連携が必須である。しかし、部活動における各学校の事情、市町の部活動への資金の差、地域移行における方針や考え方の差がある等、方向性の統一に非常に時間がかかった。

●実施内容、工夫した点等

同一種目において、各クラブでの困り感が一致しており、部活動と地域クラブの併存を検討できる種目から初動することで、地域移行についての理解を得ながら進めていった。また、教育委員会が体育協会と連携を取り、学校教育と社会教育のニーズを把握しながら段階的に地域移行を進める方針を決定した。

3. 今後の方向性

地域連携・地域移行の推進に向けたロードマップ^o

		2023年度 令和5年度	2024年度 令和6年度	2025年度 令和7年度	2026年度 令和8年度	2027年度 令和9年度	2028年度 令和10年度	
和歌山県 地域移行達成時期のイメージ		改革準備期間			改革実行期間			
和歌山県	協議会	協議会の設置・運営	●					●
		好事例の情報発信 各地域での意見交流会の実施	●					●
	方針・ガイドライン	和歌山県学校部活動及び地域クラブ活動の在り方等に関する方針作成	和歌山県学校部活動及び地域クラブ活動の在り方等に関する方針周知		●			
湊浅町	協議会	湊浅町・広川町をはじめとする地域の協議会の開催	●					●
		教育委員会、体育協会、学校との推進会議の開催	ASLEAD有田総会 定期的な理事会の開催 中学校ヒアリング		●			
		地域クラブ設立準備委員会の開催	●					●
	ニーズ把握	児童生徒・教職員へのニーズ調査	●					●
	ASLEAD有田地域クラブ	ASLEAD有田の設立	試行種目の運用	スポーツ種目の増設 ※文化芸術部の1種目を地域移行	スポーツ・文化芸術部の増設			●
	方針・ガイドライン		運動部活動・地域クラブ活動ガイドラインの検討	運動部活動・地域クラブ活動ガイドラインの策定・改訂	●			
運営主体		教育委員会主体地域クラブとして運営		NPO法人化の検討を開始	NPO法人化 総合型地域クラブへの統合を検討 教育委員会からの切り離しの検討			
委託事業		国費事業の実証事業参加	●					●
学校	部活動再編	全員部活制の廃止	部活動加入自由制の導入	部活動再編成検討		●		
	ニーズ把握	生徒、教職員を対象とした部活動の状況把握	●					●